

検 討 資 料

1. 中心市街地を取り巻く状況の動向

幸手市中心市街地活性化基本計画（幸手市、平成14年3月策定）、及び幸手TMO構想（幸手市商工会、平成17年3月策定）以降の中心市街地を取り巻く状況について、人口や商業に関する主な指標について整理する。

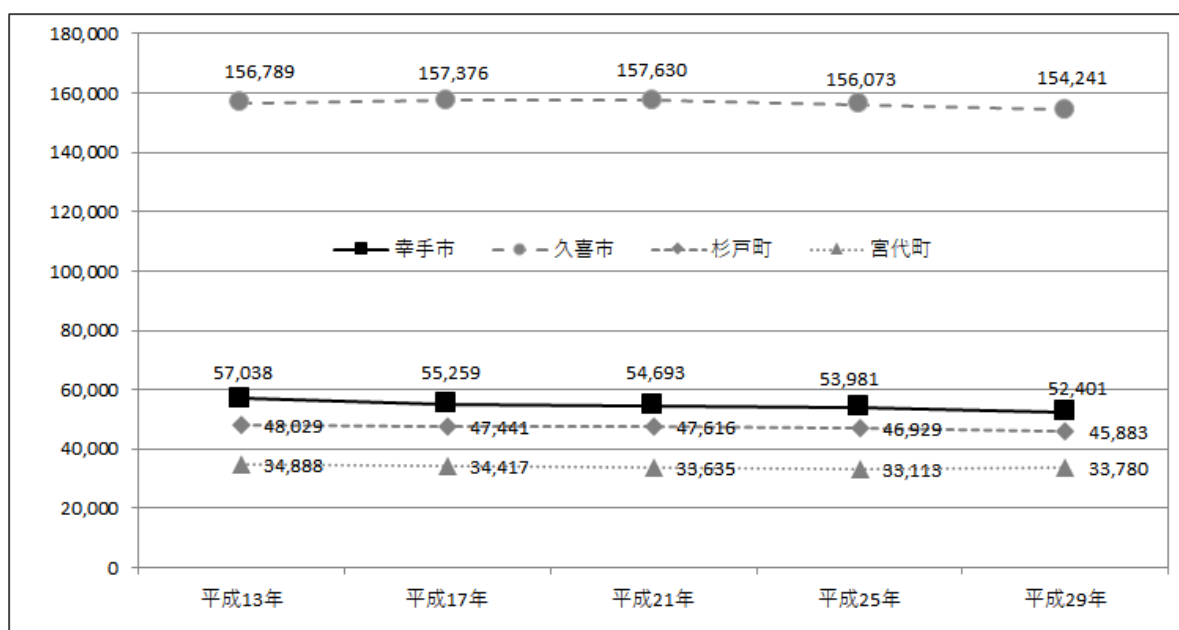
1) 幸手市の人口推移

幸手市の人口は、平成13年の57,038人から平成29年の52,401人となっており、平成13年～29年では埼玉県全体が5.1%増加している中で、幸手市は8.1%の減少となっている。周辺市町の平成13年～29年の人口増加率と比較しても、久喜市、杉戸町、宮代町それぞれが減少傾向にあるが、幸手市はそれらを上回る減少傾向にある。

■周辺市町との人口推移の比較

	平成13年	平成17年	平成21年	平成25年	平成29年	平成13年～29年の増加率
埼玉県	6,988,801	7,110,773	7,211,739	7,275,830	7,343,733	5.1%
幸手市	57,038	55,259	54,693	53,981	52,401	-8.1%
久喜市	156,789	157,376	157,630	156,073	154,241	-1.6%
杉戸町	48,029	47,441	47,616	46,929	45,883	-4.5%
宮代町	34,888	34,417	33,635	33,113	33,780	-3.2%

資料：埼玉県町（丁）字別住民基本台帳人口（各年1月1日現在）



(2) 中心市街地内の人口動向

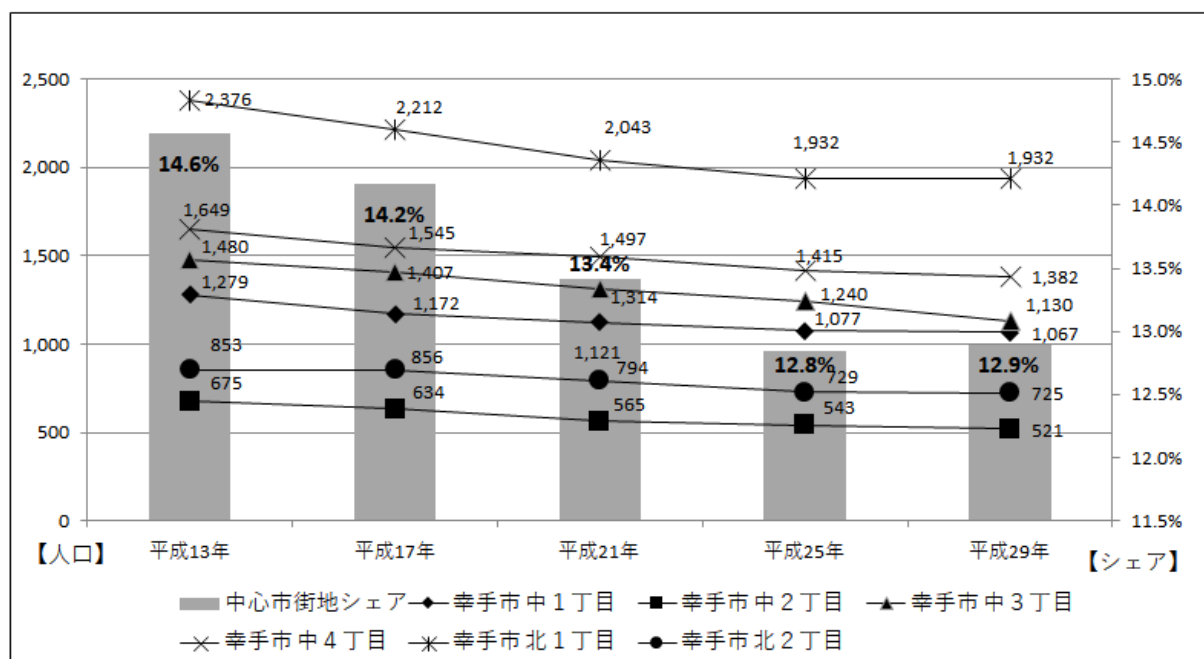
幸手市中心市街地に係る町丁目の人口は、平成13年の8,312人から平成29年には6,757人に減少している。その増減率は18.7%となっており、幸手市全体の8.1%減少を大きく上回るとともに、各町丁目においても大きく減少しており、中2丁目と中3丁目においては、20%以上減少している。

中心市街地における幸手市全体を上回る人口減少により、幸手市における中心市街地の人口シェアも減少傾向を示しており、平成13年の14.6%から平成29年には12.9%まで低下している。

■ 中心市街地の町丁目別人口の推移

	平成13年	平成17年	平成21年	平成25年	平成29年	平成13年 ～29年の 増加率
幸手市	57,038	55,259	54,693	53,981	52,401	-8.1%
中1丁目	1,279	1,172	1,121	1,077	1,067	-16.6%
中2丁目	675	634	565	543	521	-22.8%
中3丁目	1,480	1,407	1,314	1,240	1,130	-23.6%
中4丁目	1,649	1,545	1,497	1,415	1,382	-16.2%
北1丁目	2,376	2,212	2,043	1,932	1,932	-18.7%
北2丁目	853	856	794	729	725	-15.0%
中心市街地 合計	8,312	7,826	7,334	6,936	6,757	-18.7%
中心市街地シェア	14.6%	14.2%	13.4%	12.8%	12.9%	

資料: 埼玉県町(丁)字別住民基本台帳人口(各年1月1日現在)



(3) 年齢層3区分別人口

幸手市中心市街地の年齢層3区分別の人口構成は、0～14歳が8.4%、15～64歳が57.0%、65歳以上が34.6%となっており、埼玉県の65歳以上が25.0%、幸手市の65歳以上が30.9%と比較して、高齢化が進んでいる。

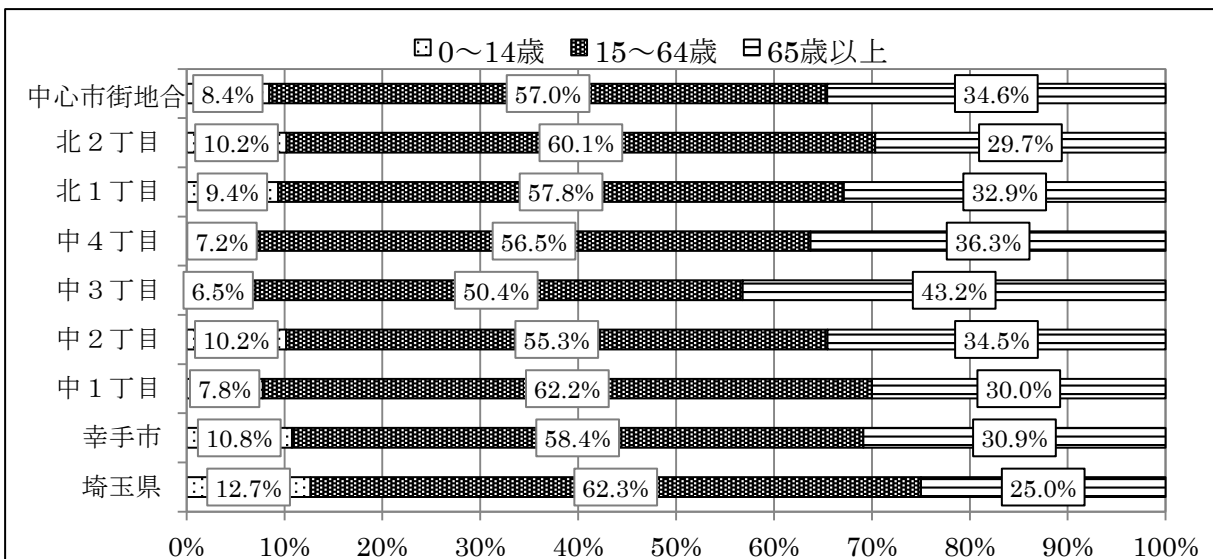
中心市街地の町丁目別の年齢層3区分別の人口構成を見ると、いずれの町丁目も0～14歳の年少人口構成比が幸手市全体を下回っており、中3丁目については、65歳以上の人口構成比が43.2%に達している。

そのような中でも、中1丁目と北2丁目については、15～64歳の生産年齢構成比が幸手市全体の構成比を上回っていると同時に、65歳以上の人口構成比が幸手市全体の構成比を下回っている。

■年齢層3区分別人口

		0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計
年齢層 3区分 別人口 (人)	埼玉県	930,692	4,576,983	1,836,058	7,343,733
	幸手市	5,643	30,579	16,179	52,401
	中1丁目	83	664	320	1,067
	中2丁目	53	288	180	521
	中3丁目	73	569	488	1,130
	中4丁目	100	781	501	1,382
	北1丁目	181	1,116	635	1,932
	北2丁目	74	436	215	725
中心市街地 合計		564	3,854	2,339	6,757
年齢層 3区分 別人口 構成比 (%)	埼玉県	12.7%	62.3%	25.0%	100.0%
	幸手市	10.8%	58.4%	30.9%	100.0%
	中1丁目	7.8%	62.2%	30.0%	100.0%
	中2丁目	10.2%	55.3%	34.5%	100.0%
	中3丁目	6.5%	50.4%	43.2%	100.0%
	中4丁目	7.2%	56.5%	36.3%	100.0%
	北1丁目	9.4%	57.8%	32.9%	100.0%
	北2丁目	10.2%	60.1%	29.7%	100.0%
中心市街地 合計		8.4%	57.0%	34.6%	100.0%

資料：埼玉県町(丁)字別住民基本台帳人口(平成29年1月1日現在)



(4) 幸手市の小売業の推移

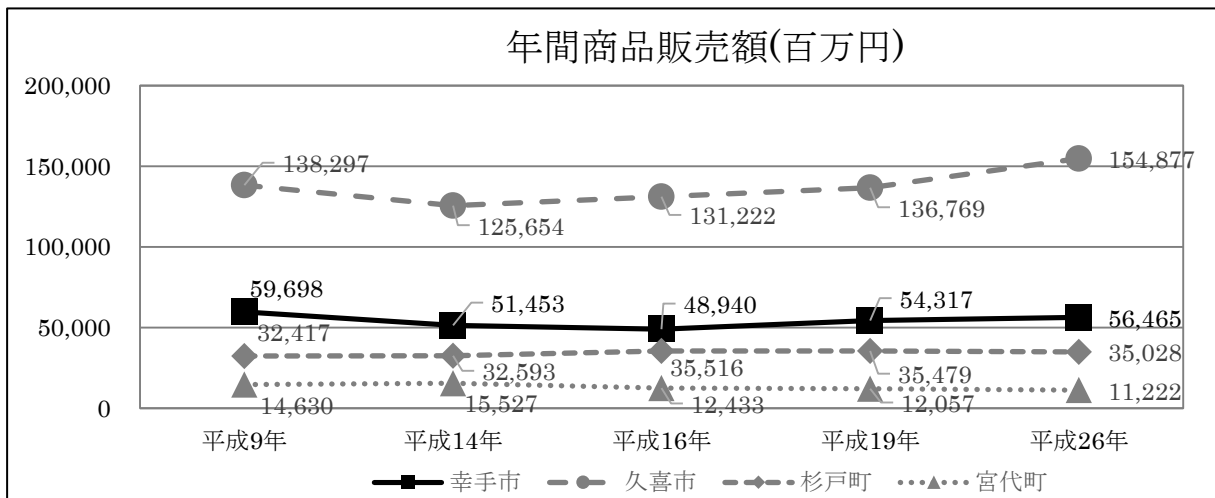
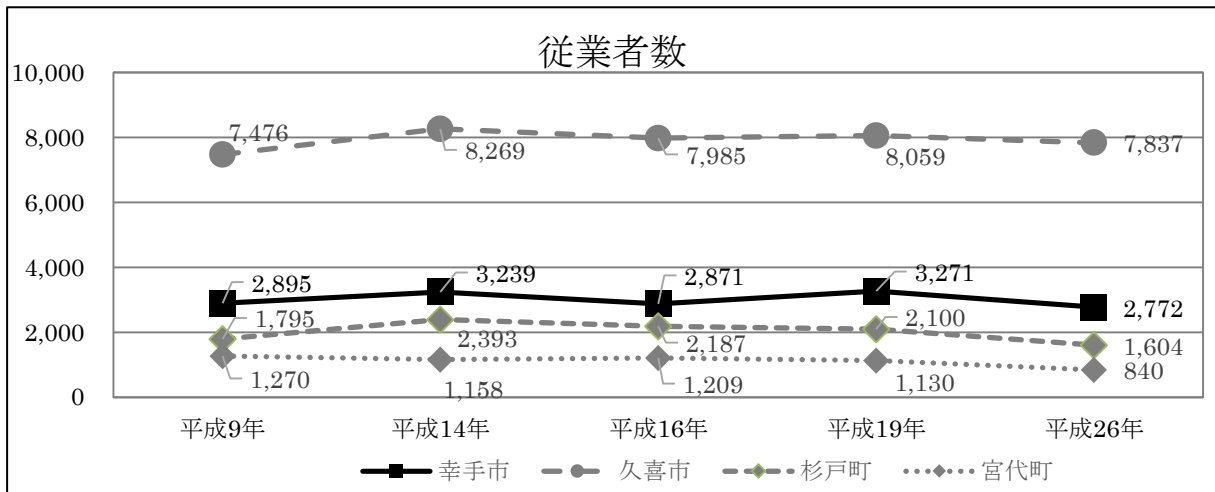
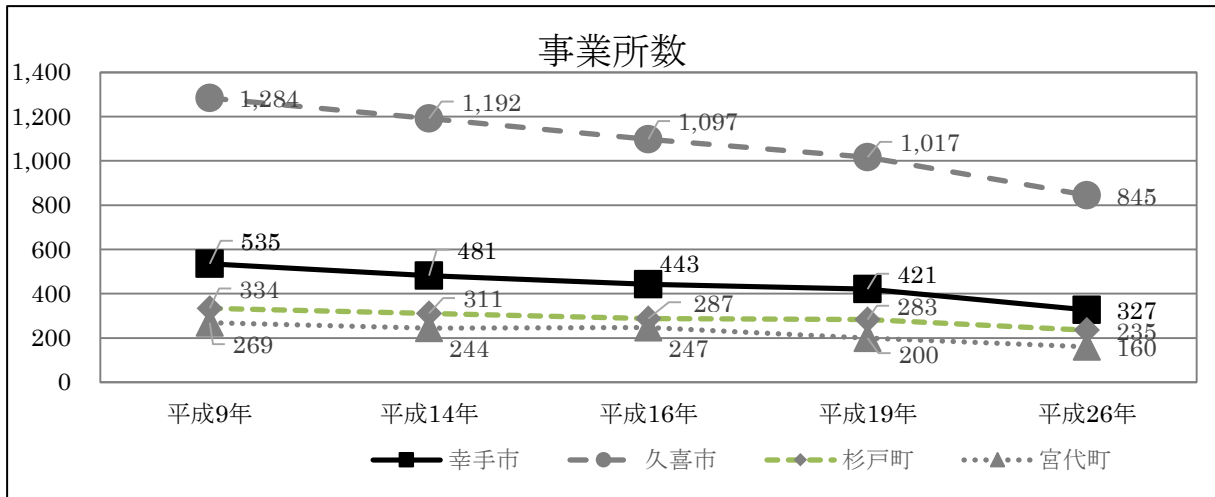
幸手市の商業について小売業の推移を見ると、売場面積が増加している中で、事業所数、従業者数、年間商品販売額は減少しており、埼玉県全体と同様の推移を示している。

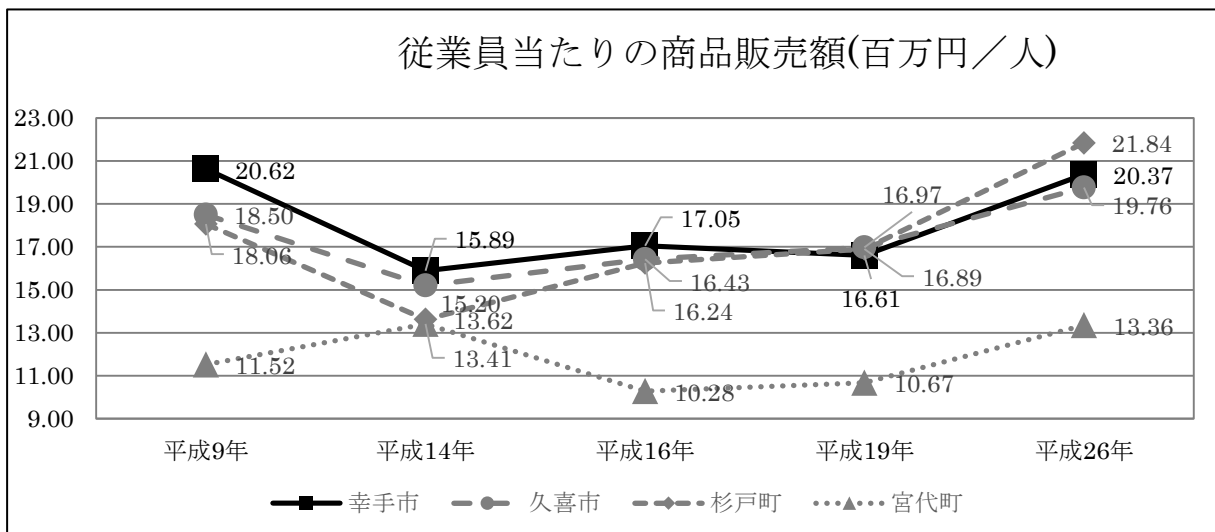
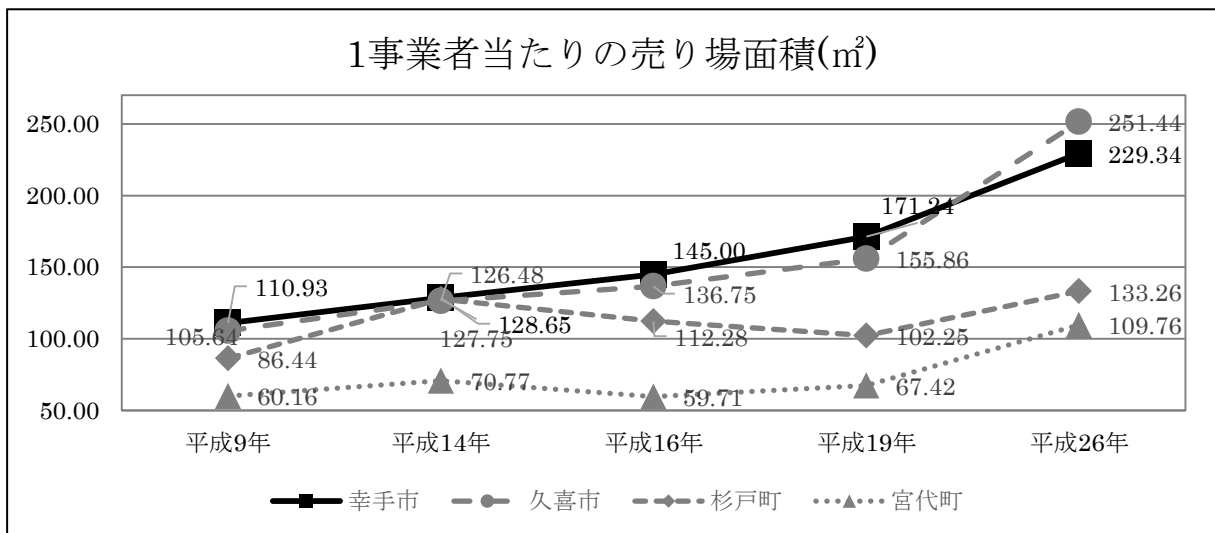
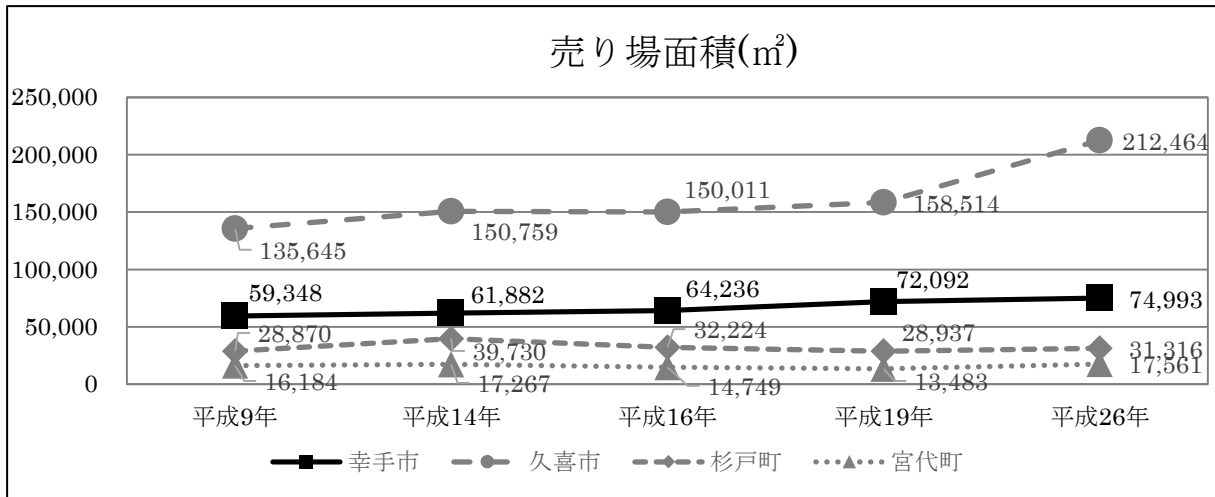
周辺市町などと比較すると、久喜市とともに1事業所当たりの売場面積の値が大きく、小売商業における大きな設備投資がなされているが、従業者当たりの商品販売額や売場面積当たりの商品販売額においては、久喜市や宮代町を上回るものの、埼玉県全体を下回っており、販売効率の低い状況になっている。

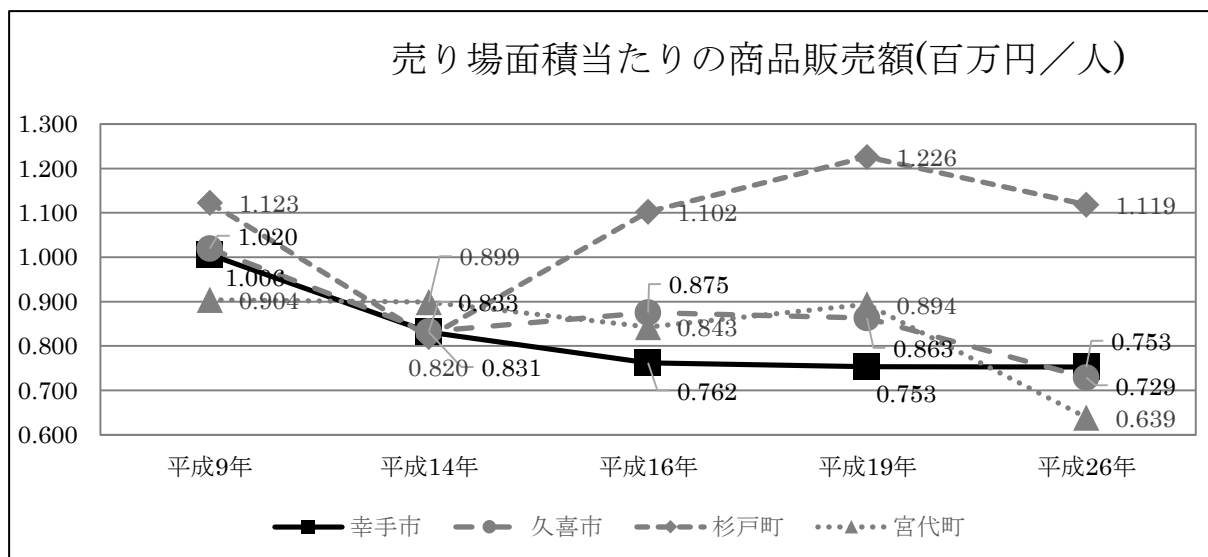
■周辺市町との小売業の比較

		事業所数	従業者数 (人)	年間商品 販売額(百 万円)	売場面積 (㎡)	1事業所当 たりの売場 面積(㎡/ 所)	従業者当 たりの商品 販売額(百 万円/人)	売場面積 当たりの商 品販売額 (百万円/ ㎡)
埼玉県	平成9年	53,734	324,764	6,560,604	5,538,713	103.08	20.20	1.184
	平成14年	49,539	364,013	6,092,936	6,261,373	126.39	16.74	0.973
	平成16年	45,527	348,040	6,056,135	6,421,499	141.05	17.40	0.943
	平成19年	44,573	357,223	6,337,840	6,928,355	155.44	17.74	0.915
	平成26年	32,188	289,647	6,052,973	6,824,126	212.01	20.90	0.887
	平成9年 ～26年増 加率	-40.1%	-10.8%	-7.7%	23.2%	105.7%	3.4%	-25.1%
幸手市	平成9年	535	2,895	59,698	59,348	110.93	20.62	1.006
	平成14年	481	3,239	51,453	61,882	128.65	15.89	0.831
	平成16年	443	2,871	48,940	64,236	145.00	17.05	0.762
	平成19年	421	3,271	54,317	72,092	171.24	16.61	0.753
	平成26年	327	2,772	56,465	74,993	229.34	20.37	0.753
	平成9年 ～26年増 加率	-38.9%	-4.2%	-5.4%	26.4%	106.7%	-1.2%	-25.1%
久喜市	平成9年	1,284	7,476	138,297	135,645	105.64	18.50	1.020
	平成14年	1,192	8,269	125,654	150,759	126.48	15.20	0.833
	平成16年	1,097	7,985	131,222	150,011	136.75	16.43	0.875
	平成19年	1,017	8,059	136,769	158,514	155.86	16.97	0.863
	平成26年	845	7,837	154,877	212,464	251.44	19.76	0.729
	平成9年 ～26年増 加率	-34.2%	4.8%	12.0%	56.6%	138.0%	6.8%	-28.5%
杉戸町	平成9年	334	1,795	32,417	28,870	86.44	18.06	1.123
	平成14年	311	2,393	32,593	39,730	127.75	13.62	0.820
	平成16年	287	2,187	35,516	32,224	112.28	16.24	1.102
	平成19年	283	2,100	35,479	28,937	102.25	16.89	1.226
	平成26年	235	1,604	35,028	31,316	133.26	21.84	1.119
	平成9年 ～26年増 加率	-29.6%	-10.6%	8.1%	8.5%	54.2%	20.9%	-0.4%
宮代町	平成9年	269	1,270	14,630	16,184	60.16	11.52	0.904
	平成14年	244	1,158	15,527	17,267	70.77	13.41	0.899
	平成16年	247	1,209	12,433	14,749	59.71	10.28	0.843
	平成19年	200	1,130	12,057	13,483	67.42	10.67	0.894
	平成26年	160	840	11,222	17,561	109.76	13.36	0.639
	平成9年 ～26年増 加率	-40.5%	-33.9%	-23.3%	8.5%	82.4%	16.0%	-29.3%

資料: 商業統計表







(5) 中心市街地の小売業の推移

幸手市中心市街地の商店街における小売業については、事業所数、従業者数、年間商品販売額、売場面積ともに減少傾向にあり、幸手市全体に占める中心市街地商店街のシェアは、事業所数が平成9年の37.0%から平成26年の35.2%、従業者数が平成9年の31.0%から平成26年の17.9%、年間商品販売額が平成9年の30.8%から平成26年の12.3%、売場面積が平成9年の47.7%から平成26年の21.0%に低下している。

幸手市全体では事業所数が減少する中で売場面積が増加しているのに対し、中心市街地商店街では、事業所数、売場面積ともに減少し、1事業所当たりの売場面積は、平成9年当時中心市街地商店街は幸手市全体を上回っていたが、平成26年では、幸手市全体が229.34㎡/所に対し、中心市街地商店街は136.70㎡/所となっており、中心市街地における商業集積が低下している。

また、従業者当たりの商品販売額や売場面積当たりの商品販売額においても、中心市街地商店街は幸手市全体を下回っており、中心市街地商店街における小売業の販売効率が低下している。

■ 中心市街地の商店街の小売業の推移

		事業 所数	従業者 数(人)	年間商品 販売額(百 万円)	売場面 積(m ²)	1事業所 当たりの 売場面 積(m ² / 所)	従業者 当たりの 商品販 売額(百 万円/ 人)	売場面 積当たりの 商品 販売額 (百万円 /m ²)
平成 9年	幸手市全体	535	2,895	59,698	59,348	110.93	20.62	1.006
	天神町商店街	12	31	195	426	35.50	6.29	0.458
	中央商店街	45	185	2,371	3,092	68.71	12.82	0.767
	荒宿商店街	52	188	2,417	7,341	141.17	12.86	0.329
	駅前商店街	37	193	4,252	6,240	168.65	22.03	0.681
	助町商店街	26	93	986	2,556	98.31	10.60	0.386
	北町商店街	26	207	8,138	8,654	332.85	39.31	0.940
	中心市街地合計	198	897	18,359	28,309	142.97	20.47	0.649
	中心市街地シェア(%)	37.0%	31.0%	30.8%	47.7%			
平成 14年	幸手市全体	481	3,239	51,453	61,882	128.65	15.89	0.831
	天神町商店街	36	219	2,385	5,650	156.94	10.89	0.422
	中央商店街	21	80	995	1,357	64.62	12.44	0.733
	荒宿商店街	29	100	947	2,687	92.66	9.47	0.352
	助町商店街	32	99	883	2,243	70.09	8.92	0.394
	北町商店街	19	228	4,689	9,158	482.00	20.57	0.512
	仲町商店街	18	88	994	4,847	269.28	11.30	0.205
	大杉町商店街	10	39	258	769	76.90	6.62	0.336
	中心市街地合計	165	853	11,151	26,711	161.88	13.07	0.417
中心市街地シェア(%)	34.3%	26.3%	21.7%	43.2%				
平成 16年	幸手市全体	443	2,871	48,940	64,236	145.00	17.05	0.762
	天神町商店街	21	74	605	1,405	66.90	8.18	0.431
	中央商店街	20	79	917	1,317	65.85	11.61	0.696
	荒宿商店街	33	120	1,316	2,328	70.55	10.97	0.565
	助町商店街	33	93	828	2,040	61.82	8.90	0.406
	北町商店街	16	161	4,119	9,215	575.94	25.58	0.447
	仲町商店街	12	58	678	3,467	288.92	11.69	0.196
	大杉町商店街	8	31	258	365	45.63	8.32	0.707
	中心市街地合計	143	616	8,721	20,137	140.82	14.16	0.433
中心市街地シェア(%)	32.3%	21.5%	17.8%	31.3%				
平成 19年	幸手市全体	421	3,271	54,317	72,092	171.24	16.61	0.753
	天神町商店街	19	54	493	1,067	56.16	9.13	0.462
	中央商店街	21	71	542	1,348	64.19	7.63	0.402
	荒宿商店街	29	106	751	2,517	86.79	7.08	0.298
	助町商店街	32	103	933	1,935	60.47	9.06	0.482
	北町商店街	14	76	1,376	3,391	242.21	18.11	0.406
	仲町商店街	14	60	638	2,043	145.93	10.63	0.312
	大杉町商店街	9	26	194	497	55.22	7.46	0.390
	中心市街地合計	138	496	4,927	12,798	92.74	9.93	0.385
中心市街地シェア(%)	32.8%	15.2%	9.1%	17.8%				
平成 26年	幸手市全体	327	2,772	56,465	74,993	229.34	20.37	0.753
	天神町商店会	15	39	278	638	42.53	7.13	0.436
	中央商店会	16	42	455	765	47.81	10.83	0.595
	荒宿商店会	23	66	686	2,323	101.00	10.39	0.295
	助町商店会	23	83	709	1,859	80.83	8.54	0.381
	北町商店会	19	193	3,810	7,713	405.95	19.74	0.494
	仲町商店会	10	46	755	2,033	203.30	16.41	0.371
	大杉町商店会	6	13	69	278	46.33	5.31	0.248
	田宮商店会	3	15	190	111	37.00	12.67	1.712
中心市街地合計	115	497	6,952	15,720	136.70	13.99	0.442	
中心市街地シェア(%)	35.2%	17.9%	12.3%	21.0%				

資料：商業統計表(立地環境別集計)

(6) 幸手市の大規模小売店の立地状況

幸手市においては、平成29年4月1日現在19店舗の大規模小売店舗が立地しており、人口1,000人当たり大規模小売店舗面積が1,418㎡で、埼玉県や周辺市町と比較して、大規模小売店舗への依存が大きいと言える。

また、市内19店舗のうち15店舗が中心市街地活性化基本計画策定以降の開店となっており、それらの中では、幸手北モールが中心市街地の北端に立地しているのみである。

■大規模小売店舗市町村別出店状況


	市町村名	推計人口 (H29.4.1)	大規模小売店舗		人口1,000 人当たり 大規模小 売店舗面 積[㎡]		市町村名	推計人口 (H29.4.1)	大規模小売店舗		人口1,000 人当たり 大規模小 売店舗面 積[㎡]
			店舗 数	面積 [㎡]					店舗 数	面積 [㎡]	
1	さいたま市	1,280,576	193	1,128,911	882	33	蓮田市	62,110	12	49,370	795
2	川越市	352,724	55	262,170	743	34	坂戸市	101,755	20	53,853	529
3	熊谷市	197,059	43	192,936	979	35	幸手市	52,010	19	73,750	1,418
4	川口市	582,371	82	375,670	645	36	鶴ヶ島市	70,117	17	73,255	1,045
5	行田市	80,858	19	58,010	717	37	日高市	56,001	5	28,468	508
6	秩父市	62,295	14	50,729	814	38	吉川市	70,645	9	36,220	513
7	所沢市	341,100	45	188,426	552	39	ふじみ野市	111,800	18	114,890	1,028
8	飯能市	80,359	11	58,253	725	40	白岡市	51,978	7	11,385	219
9	加須市	111,598	14	90,200	808	41	伊奈町	44,611	3	11,346	254
10	本庄市	77,651	14	88,623	1,141	42	三芳町	38,588	9	31,589	819
11	東松山市	91,913	22	133,403	1,451	43	毛呂山町	36,728	5	21,440	584
12	春日部市	231,825	35	200,452	865	44	越生町	11,444	2	4,280	374
13	狭山市	151,274	17	92,748	613	45	滑川町	18,644	3	31,480	1,688
14	羽生市	54,495	7	72,684	1,334	46	嵐山町	18,129	7	19,787	1,091
15	鴻巣市	117,890	19	95,285	808	47	小川町	30,389	5	13,549	446
16	深谷市	143,058	25	99,396	695	48	川島町	20,353	5	22,280	1,095
17	上尾市	225,266	36	189,540	841	49	吉見町	19,162	0	0	0
18	草加市	248,691	34	161,630	650	50	鳩山町	14,025	2	3,892	278
19	越谷市	341,057	52	339,030	994	51	ときがわ町	11,147	1	1,382	124
20	蕨市	73,179	9	45,834	626	52	横瀬町	8,288	0	0	0
21	戸田市	139,187	19	95,857	689	53	皆野町	9,884	3	6,111	618
22	入間市	147,611	30	182,986	1,240	54	長瀬町	7,152	1	1,996	279
23	朝霞市	138,053	13	26,821	194	55	小鹿野町	11,703	2	2,883	246
24	志木市	74,445	10	43,702	587	56	東秩父村	2,809	0	0	0
25	和光市	81,284	8	33,622	414	57	美里町	11,014	1	2,589	235
26	新座市	163,573	28	118,950	727	58	神川町	13,567	1	2,395	177
27	桶川市	74,214	12	62,342	840	59	上里町	30,315	7	55,144	1,819
28	久喜市	151,903	28	203,738	1,341	60	寄居町	33,444	4	22,796	682
29	北本市	66,590	19	70,264	1,055	61	宮代町	34,016	1	5,887	173
30	八潮市	88,342	8	32,732	371	62	杉戸町	45,023	7	26,701	593
31	富士見市	108,924	11	78,154	718	63	松伏町	29,681	3	14,581	491
32	三郷市	138,593	19	182,328	1,316		埼玉県	7,294,490	1,130	5,798,725	795

資料:埼玉県 HP(平成29年4月1日現在)

■幸手市における大規模小売店舗一覧

	店舗の名称(大規模小売店舗立地法上の名称)	所在地	店舗面積(m ²)	開店年月	店舗面積規模市内順位
1	小栗家具センター(株小栗)	北2丁目	1,390	S29.09	16
2	中山家具センター	中3丁目	1,615	S40.04	14
3	ジョイフル本田幸手店	上高野	25,909	S53.06	1
4	ベルク幸手南店	南2丁目	1,946	H12.11	10
5	カワチ薬品幸手店、バースデイ幸手店	上高野	3,754	H17.03	5
6	マイネットヨタ杉戸高野台店	上高野	1,023	H17.11	18
7	ジョイフル本田幸手店ペット・ガーデンセンター	上高野	5,302	H17.12	4
8	エムズタウン幸手(西館)	上高野	3,174	H17.12	6
9	エムズタウン幸手(東館)	上高野	3,114	H17.12	7
10	ジョイフル本田幸手店農業資材館	上高野	1,250	H18.03	17
11	タイムクリップ幸手店	上高野	1,715	H18.12	13
12	ヤオコー幸手店	幸手	6,189	H19.04	2
13	幸手北モール(旧Dマート)	北2丁目	5,198	H20.06	3
14	エムズタウン幸手南館A棟	上高野	1,909	H21.06	11
15	エムズタウン幸手南館B棟	上高野	1,001	H21.06	19
16	ヨークマート幸手店	天神島	3,012	H23.06	8
17	ケーズデンキ幸手店	上高野	2,973	H23.09	9
18	ウエルシア幸手東店(柳原ビル)	東4丁目	1,487	H26.02	15
19	フードオアシスオータニ幸手店	東4丁目	1,789	H26.04	12
合 計			73,750		

資料:埼玉県HP(平成29年4月1日現在)

 : 中心市街地活性化基本計画の策定(平成14年3月)以降に開店した大規模小売店舗

2. アンケート調査の実施

中心市街地の顧客層として期待される反面、買い物や来街機会が少ないことが想定される子育て世代を対象として、下記のようなアンケート調査を実施した。

(1) 調査の概要

- ① 調査対象：市立小学校・中学校へ通学する児童・生徒の保護者
- ② 調査項目：日頃の買物場所
中心市街地への来街頻度
中心市街地を訪問する主な目的
中心市街地の商店街のイメージ
中心市街地におけるにぎわい・魅力創出のための取り組み
- ③ 調査期間：平成29年10月（提出期限10月25日）
- ④ 調査方法：市内小学校・中学校の児童・生徒を通じて保護者への配布。
児童、生徒を通じて学校（担任の先生）へ提出回収。
- ⑤ 配布・回収状況

	生徒数	回答数			回答数	回収率
		中央	東	西		
1 幸手小	275	94			94	34.2%
2 権現堂小	83		45		45	54.2%
3 上高野小	328	119			119	36.3%
4 吉田小	92		56		56	60.9%
5 八代小	79		43		43	54.4%
6 行幸小	266			84	84	31.6%
7 長倉小	526			306	306	58.2%
8 さかえ小	174		66		66	37.9%
9 さくら小	556	417			417	75.0%
10 幸中	535	121			121	22.6%
11 東中	142		43		43	30.3%
12 西中	481			86	86	17.9%
総計	3,537	751	253	476	1,480	41.8%
エリア別回答率		44.3%	44.4%	37.4%		

※エリア（区域）の分けについて

中央： 国道4号線を中心に広がる、中心市街地の周辺エリア

東： 中央エリアの東側のエリア

西： 中央エリアの西側エリア

(2) 調査結果

①主な商品の買い物場所

ア) 食料品などの日常生活品

回答者全体の約65%が「市内の郊外大規模小売店舗」で買い物しており、エリア別に見ても「市内の郊外大規模小売店舗」が最も多くなっており、「中心市街地の商店街店舗」でも買い物は回答者全体で約10%にとどまっている。

エリア別の特徴としては、中央エリアで「中心市街地の商店街店舗」での買い物が他エリアと比べてやや多いが、西エリアにおいては、「市内の郊外大規模小売店舗」の42.9%に次いで、「久喜市内の大規模小売店舗」が36.6%と多くなっており、購買力の市外流出が大きい。

選択肢		エリア	中央	東	西	総計
回答数	幸手市の中心市街地の商店街店舗		90	21	44	155
	幸手市内の郊外大規模小売店舗		557	202	204	963
	久喜市内の商店街の店舗		2		11	13
	久喜市内の大規模小売店舗		38	3	174	215
	杉戸町の店舗・大型小売店舗		5	8	0	13
	その他の市町村の店舗・大規模小売店舗		32	10	17	59
	生協などの宅配サービス、通信販売・インターネット販売		17	4	18	39
	その他		5	4	3	12
	無回答		5	1	5	11
	総計		751	253	476	1,480
構成比	幸手市の中心市街地の商店街店舗		12.0%	8.3%	9.2%	10.5%
	幸手市内の郊外大規模小売店舗		74.2%	79.8%	42.9%	65.1%
	久喜市内の商店街の店舗		0.3%	0.0%	2.3%	0.9%
	久喜市内の大規模小売店舗		5.1%	1.2%	36.6%	14.5%
	杉戸町の店舗・大型小売店舗		0.7%	3.2%	0.0%	0.9%
	その他の市町村の店舗・大規模小売店舗		4.3%	4.0%	3.6%	4.0%
	生協などの宅配サービス、通信販売・インターネット販売		2.3%	1.6%	3.8%	2.6%
	その他		0.7%	1.6%	0.6%	0.8%
	無回答		0.7%	0.4%	1.1%	0.7%
	総計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

イ) 衣料品などの身の回り品

回答者全体の約34%が「その他の市町村の店舗・大規模小売店舗」で買い物しており、購買力の市外流出が大きい。

エリア別に見ると中央エリアや東エリアでは、「その他の市町村の店舗・大規模小売店舗」が最も多く、次いで「市内の郊外大規模小売店舗」となっている。西エリアでは、「久喜市内の大規模小売店舗」が約42%と最も多く、次いで「その他の市町村の店舗・大規模小売店舗」が約24%となっており、食料品などの日常生活品以上に衣料品などの身の回り品における市外流出が大きくなっている。

選択肢		エリア	中央	東	西	総計
回答数	幸手市の中心市街地の商店街店舗		39	15	20	74
	幸手市内の郊外大規模小売店舗		247	92	90	429
	久喜市内の商店街の店舗		2	1	11	14
	久喜市内の大規模小売店舗		118	21	200	339
	杉戸町の店舗・大型小売店舗		7	1	1	9
	その他の市町村の店舗・大規模小売店舗		280	102	115	497
	生協などの宅配サービス、通信販売・インターネット販売		26	9	21	56
	その他		22	9	10	41
	無回答		10	3	8	21
	総計		751	253	476	1480
構成比	幸手市の中心市街地の商店街店舗		5.2%	5.9%	4.2%	5.0%
	幸手市内の郊外大規模小売店舗		32.9%	36.4%	18.9%	29.0%
	久喜市内の商店街の店舗		0.3%	0.4%	2.3%	0.9%
	久喜市内の大規模小売店舗		15.7%	8.3%	42.0%	22.9%
	杉戸町の店舗・大型小売店舗		0.9%	0.4%	0.2%	0.6%
	その他の市町村の店舗・大規模小売店舗		37.3%	40.3%	24.2%	33.6%
	生協などの宅配サービス、通信販売・インターネット販売		3.5%	3.6%	4.4%	3.8%
	その他		2.9%	3.6%	2.1%	2.8%
	無回答		1.3%	1.2%	1.7%	1.4%
	総計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②幸手市中心市街地の商店街の利用頻度

回答者全体では、「ほとんど行かない」という回答が約31%と最も多く、次いで「年に数回程度」が約21%となっており、中心市街地は、小中学校の保護者にとっては、なじみの薄い場所となっている。

エリア別に見ると中央エリアと西エリアは同様の来街頻度を示しているが、東エリアでは「ほとんど行かない」という回答が約46%を占めている。

選択肢		エリア	中央	東	西	総計
回答数	週に2～3回		128	28	63	219
	週に1回程度		60	19	52	131
	月に2～3回程度		98	16	62	176
	月に1回程度		93	28	54	175
	年に数回程度		165	45	102	312
	ほとんど行かない		205	116	141	462
	無回答		2	1	2	5
	総計		751	253	476	1480
構成比	週に2～3回		17.0%	11.1%	13.2%	14.8%
	週に1回程度		8.0%	7.5%	10.9%	8.9%
	月に2～3回程度		13.0%	6.3%	13.0%	11.9%
	月に1回程度		12.4%	11.1%	11.3%	11.8%
	年に数回程度		22.0%	17.8%	21.4%	21.1%
	ほとんど行かない		27.3%	45.8%	29.6%	31.2%
	無回答		0.3%	0.4%	0.4%	0.3%
	総計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③幸手中心市街地の商店街を訪問する主な用件

中心市街地の商店街を訪問する主な用件としては、「仕事・商用・銀行」という回答が30%と最も多く、次いで「買い物」が約26%、「駅や施設などへの送り迎え」が約16%となっており、エリア別の回答に大差はない。

中心市街地の商店街への来訪頻度が少ない中で、「買い物」が相対的に回答が多いのは、学校指定用品の購入などの特定の商品や店舗での買い物行動が多いことが想定される。

選択肢		エリア	中央	東	西	総計
回答数	買い物		418	100	251	769
	飲食		87	20	47	154
	仕事・商用・銀行		454	141	282	877
	習い事		73	28	64	165
	通院		79	40	43	162
	娯楽		3	5	1	9
	友人などとの会合・待ち合わせ		10	7	4	21
	散策・通りがかり		116	45	61	222
	駅や施設などへの送り迎え		264	58	136	458
	その他		39	9	36	84
	総計		1,543	453	925	2,921
構成比	買い物		27.1%	22.1%	27.1%	26.3%
	飲食		5.6%	4.4%	5.1%	5.3%
	仕事・商用・銀行		29.4%	31.1%	30.5%	30.0%
	習い事		4.7%	6.2%	6.9%	5.6%
	通院		5.1%	8.8%	4.6%	5.5%
	娯楽		0.2%	1.1%	0.1%	0.3%
	友人などとの会合・待ち合わせ		0.6%	1.5%	0.4%	0.7%
	散策・通りがかり		7.5%	9.9%	6.6%	7.6%
	駅や施設などへの送り迎え		17.1%	12.8%	14.7%	15.7%
	その他		2.5%	2.0%	3.9%	2.9%
	総計		100%	100%	100%	100%

性別	エリア	その他意見
女	中央エリア	自宅への帰り道
女	中央エリア	学校指定用品の購入(44件)
女	西エリア	祭り(13件)

④幸手市中心市街地の商店街のイメージ

中心市街地の商店街のイメージについては、相対的に評価の高い項目は、「治安の良さ」、「明るさ・清潔感」、「住環境・住みやすさ」、「緑・自然環境の良さ」、「歩きやすさ」などとなっており、生活環境面で魅力については評価されている。

一方、「活気」や「商店・買い物のしやすさ」、「駐車場・駐輪場の使いやすさ」といった項目で相対的に評価が低く、商店街としての魅力面での課題が指摘される。

なお、エリアごとの回答に大差はない。

【回答数】

項目	選択肢	ある	普通	ない	無回答	総計
(ア)活気	中央	3	182	564	2	751
	東	2	52	199		253
	西	2	124	347	3	476
	総計	7	358	1110	5	1,480
(イ)明るさ・清潔感	中央	14	448	287	2	751
	東	6	144	103		253
	西	17	293	161	5	476
	総計	37	885	551	7	1480
(ウ)商店、買い物のしやすさ	中央	13	295	438	5	751
	東	10	78	164	1	253
	西	12	178	282	4	476
	総計	35	551	884	10	1,480
(エ)駐車場・駐輪場の使いやすさ	中央	30	272	446	3	751
	東	16	53	182	2	253
	西	18	170	283	5	476
	総計	64	495	911	10	1480
(オ)住環境・住みやすさ	中央	55	471	221	4	751
	東	10	148	93	2	253
	西	14	296	161	5	476
	総計	79	915	475	11	1,480
(カ)緑・自然環境の良さ	中央	36	422	287	6	751
	東	23	139	91		253
	西	22	259	190	5	476
	総計	81	820	568	11	1,480
(キ)歩きやすさ	中央	50	461	237	3	751
	東	9	152	90	2	253
	西	20	270	181	5	476
	総計	79	883	508	10	1,480
(ク)治安の良さ	中央	104	571	71	5	751
	東	33	201	16	3	253
	西	62	369	40	5	476
	総計	199	1141	127	13	1,480
(ケ)公共交通の利用しやすさ	中央	27	382	337	5	751
	東	8	117	127	1	253
	西	14	219	239	4	476
	総計	49	718	703	10	1,480

【構成比】

項目	選択肢	ある	普通	ない	無回答	総計
(ア)活気	中央	0.4%	24.2%	75.1%	0.3%	100.0%
	東	0.8%	20.6%	78.7%	0.0%	100.0%
	西	0.4%	26.1%	72.9%	0.6%	100.0%
	総計	0.5%	24.2%	75.0%	0.3%	100.0%
(イ)明るさ・清潔感	中央	1.9%	59.7%	38.2%	0.3%	100.0%
	東	2.4%	56.9%	40.7%	0.0%	100.0%
	西	3.6%	61.6%	33.8%	1.1%	100.0%
	総計	2.5%	59.8%	37.2%	0.5%	100.0%
(ウ)商店、買い物のしやすさ	中央	1.7%	39.3%	58.3%	0.7%	100.0%
	東	4.0%	30.8%	64.8%	0.4%	100.0%
	西	2.5%	37.4%	59.2%	0.8%	100.0%
	総計	2.4%	37.2%	59.7%	0.7%	100.0%
(エ)駐車場・駐輪場の使いやすさ	中央	4.0%	36.2%	59.4%	0.4%	100.0%
	東	6.3%	20.9%	71.9%	0.8%	100.0%
	西	3.8%	35.7%	59.5%	1.1%	100.0%
	総計	4.3%	33.4%	61.6%	0.7%	100.0%
(オ)住環境・住みやすさ	中央	7.3%	62.7%	29.4%	0.5%	100.0%
	東	4.0%	58.5%	36.8%	0.8%	100.0%
	西	2.9%	62.2%	33.8%	1.1%	100.0%
	総計	5.3%	61.8%	32.1%	0.7%	100.0%
(カ)緑・自然環境の良さ	中央	4.8%	56.2%	38.2%	0.8%	100.0%
	東	9.1%	54.9%	36.0%	0.0%	100.0%
	西	4.6%	54.4%	39.9%	1.1%	100.0%
	総計	5.5%	55.4%	38.4%	0.7%	100.0%
(キ)歩きやすさ	中央	6.7%	61.4%	31.6%	0.4%	100.0%
	東	3.6%	60.1%	35.6%	0.8%	100.0%
	西	4.2%	56.7%	38.0%	1.1%	100.0%
	総計	5.3%	59.7%	34.3%	0.7%	100.0%
(ク)治安の良さ	中央	13.8%	76.0%	9.5%	0.7%	100.0%
	東	13.0%	79.4%	6.3%	1.2%	100.0%
	西	13.0%	77.5%	8.4%	1.1%	100.0%
	総計	13.4%	77.1%	8.6%	0.9%	100.0%
(ケ)公共交通の利用しやすさ	中央	3.6%	50.9%	44.9%	0.7%	100.0%
	東	3.2%	46.2%	50.2%	0.4%	100.0%
	西	2.9%	46.0%	50.2%	0.8%	100.0%
	総計	3.3%	48.5%	47.5%	0.7%	100.0%

⑤中心市街地のにぎわい創造・魅力あるものにするために必要なもの

全体的に「駐車場や駐輪場の充実」が17.5%と最も多く、次いで「新たな大型商業施設の立地」が12.2%、「商店街におけるお店の業種の充実」が12.1%、「子育て支援や子どもと安心して楽しめる環境の充実」が10.8%となっている。

商業施設の集積立地とアクセス利便性の強化とともに、子育て世代が来訪・立ち寄りやすい環境づくりと目的性の創出が求められる。

なお、エリアごとの回答に大差はない。

【回答数】

選択肢	エリア	中央	東	西	総計
商店街におけるお店の業種の充実		256	70	160	486
新たな大型の商業施設の立地		248	93	147	488
イベントや販売促進活動の充実		132	40	88	260
商店街やお店の情報発信の強化		115	26	65	206
買い物時の接客や顧客サービスの強化		49	8	21	78
買い物時などに休憩できる、ゆっくり買い物を 楽しめる環境整備		99	28	64	191
駐車場や駐輪場の充実		334	134	231	699
幸手宿のイメージを大切にした地域の歴史や 文化に親しめる環境づくり		79	31	47	157
古民家・商家などを活用して新たな商業など にチャレンジできる場の創出		84	30	57	171
権現堂提などと回遊する観光客が訪れるよう な、立ち寄りスポットの整備		170	56	98	324
住みやすい・住み続けられる住環境の整備		108	29	73	210
新たな住宅供給の促進		15	10	5	30
高齢者にやさしいまちづくりの推進		47	13	26	86
子育て支援や子どもと安心して楽しめる環境 の充実		223	70	140	433
公共施設の設置		47	14	28	89
その他		41	14	41	96
総計		2047	666	1291	4004

【構成比】

選択肢	エリア	中央	東	西	総計
商店街におけるお店の業種の充実		12.5%	10.5%	12.4%	12.1%
新たな大型の商業施設の立地		12.1%	14.0%	11.4%	12.2%
イベントや販売促進活動の充実		6.4%	6.0%	6.8%	6.5%
商店街やお店の情報発信の強化		5.6%	3.9%	5.0%	5.1%
買い物時の接客や顧客サービスの強化		2.4%	1.2%	1.6%	1.9%
買い物時などに休憩できる、ゆっくり買い物を 楽しめる環境整備		4.8%	4.2%	5.0%	4.8%
駐車場や駐輪場の充実		16.3%	20.1%	17.9%	17.5%
幸手宿のイメージを大切にした地域の歴史や 文化に親しめる環境づくり		3.9%	4.7%	3.6%	3.9%
古民家・商家などを活用して新たな商業など にチャレンジできる場の創出		4.1%	4.5%	4.4%	4.3%
権現堂提などと回遊する観光客が訪れるよう な、立ち寄りスポットの整備		8.3%	8.4%	7.6%	8.1%
住みやすい・住み続けられる住環境の整備		5.3%	4.4%	5.7%	5.2%
新たな住宅供給の促進		0.7%	1.5%	0.4%	0.7%
高齢者にやさしいまちづくりの推進		2.3%	2.0%	2.0%	2.1%
子育て支援や子どもと安心して楽しめる環境 の充実		10.9%	10.5%	10.8%	10.8%
公共施設の設置		2.3%	2.1%	2.2%	2.2%
その他		2.0%	2.1%	3.2%	2.4%
総計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

性別	エリア	その他意見
女	西エリア	荒宿交差点が渋滞する。道を広げて右折帯を作ってほしい。市役所通りが右折禁止は不便、なるべく通らないようにしている。
女	西エリア	商店街で働いています。活気のある町になってほしいです。市外から幸手の町の絵を描きに来ている方がいました。外人さんが古い建物に興味を持っていました。まだまだ可能性はあると思います。
女	西エリア	昔からの住人が新興住宅へ引っ越してきた人を受け入れる体制がないと街の発展は難しいと思う。
女	東エリア	中心商店街ですが、活気がなく暗いイメージがあります。「シャッター通り」にせず幸手ならではの店を作ると良いと思いました。また、幸手市内全域にバス停を増やし(本数も)、いつでもだれでも行ける商店街があると良いです。

女	東エリア	無駄なものにお金を使いすぎ(権現堂など)西側ばかりにお金を使いすぎ。東側にも。
男	中央エリア	行ってみたいと付加価値のある店舗が増えると良い。(雑貨・飲食)
女	中央エリア	幸手の店舗の接客はエラそう。よく聞く話です。
女	中央エリア	何をやっても無理だと思う(3件)
女	中央エリア	中学校の制服を買う店が町内に1店しかないのがとても困ります。ヨーカドーやアリオの中でも売ってほしいです。
女	中央エリア	近所に公園や広場など、ボール遊びができる場所が必要(9件)
男	東エリア	アニメキャラクターは気持ち悪いのでやめてほしい
女	東エリア	4号バイパス周辺にもスーパーを作してほしい
女	中央エリア	水害対策(2件)
女	中央エリア	若い人が立ち寄るような魅力的なお店が全くない(6件)
女	西エリア	バスの整備
女	西エリア	道路・歩道の拡張。渋滞緩和(50件)
女	西エリア	幸手市は高齢化率が異常なためニーズに応じた供給をすべき

⑥ 回答者の性別・年齢

【性別】

エリア		選択肢	男性	女性	無回答	総計
回答数		中央	61	683	7	751
		東	15	237	1	253
		西	22	451	3	476
		総計	98	1371	11	1480
構成比		中央	8.1%	90.9%	0.9%	100.0%
		東	5.9%	93.7%	0.4%	100.0%
		西	4.6%	94.7%	0.6%	100.0%
		総計	6.6%	92.6%	0.7%	100.0%

【年齢】

エリア		選択肢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答	総計
回答数		中央	22	284	396	26	16	7	751
		東	2	114	126	9	1	1	253
		西	13	184	263	10	3	3	476
		総計	37	582	785	45	20	11	1480
構成比		中央	2.9%	37.8%	52.7%	3.5%	2.1%	0.9%	100.0%
		東	0.8%	45.1%	49.8%	3.6%	0.4%	0.4%	100.0%
		西	2.7%	38.7%	55.3%	2.1%	0.6%	0.6%	100.0%
		総計	2.5%	39.3%	53.0%	3.0%	1.4%	0.7%	100.0%

3. 業種立地及び空き店舗などの立地状況

中心市街地における業種別の店舗立地や空き店舗の立地状況について、現地踏査による目視調査を行い、下記のような町丁目別の立地状況図と店舗リストを作成した。

※空き店舗＝利活用可能な物件のみ抽出。住居などとなっているもの除く。

①住所区分別の店舗数

○中1丁目

	店舗数	割合 (%)
小売業 (食料品)	12	8.16
小売業 (食料品除く)	23	15.65
飲食業	29	19.73
その他の施設	60	40.82
空き店舗	23	15.65
計	147	

○中2丁目

	店舗数	割合 (%)
小売業 (食料品)	6	10.53
小売業 (食料品除く)	9	15.79
飲食業	15	26.32
その他の施設	27	47.37
空き店舗	0	0.00
計	57	

○中3丁目

	店舗数	割合 (%)
小売業 (食料品)	7	9.46
小売業 (食料品除く)	20	27.03
飲食業	5	6.76
その他の施設	33	44.59
空き店舗	9	12.16
計	74	

○中4丁目

	店舗数	割合 (%)
小売業 (食料品)	9	9.09
小売業 (食料品除く)	20	20.20
飲食業	11	11.11
その他の施設	39	39.39
空き店舗	20	20.20
計	99	

○北1丁目

	店舗数	割合 (%)
小売業 (食料品)	2	7.69
小売業 (食料品除く)	12	46.15
飲食業	3	11.54
その他の施設	7	26.92
空き店舗	2	7.69
計	26	






○北2丁目

	店舗数	割合 (%)
小売業 (食料品)	3	4.29
小売業 (食料品除く)	22	31.43
飲食業	6	8.57
その他の施設	29	41.43
空き店舗	10	14.29
計	70	

②各地域における立地状況

※各図を参照

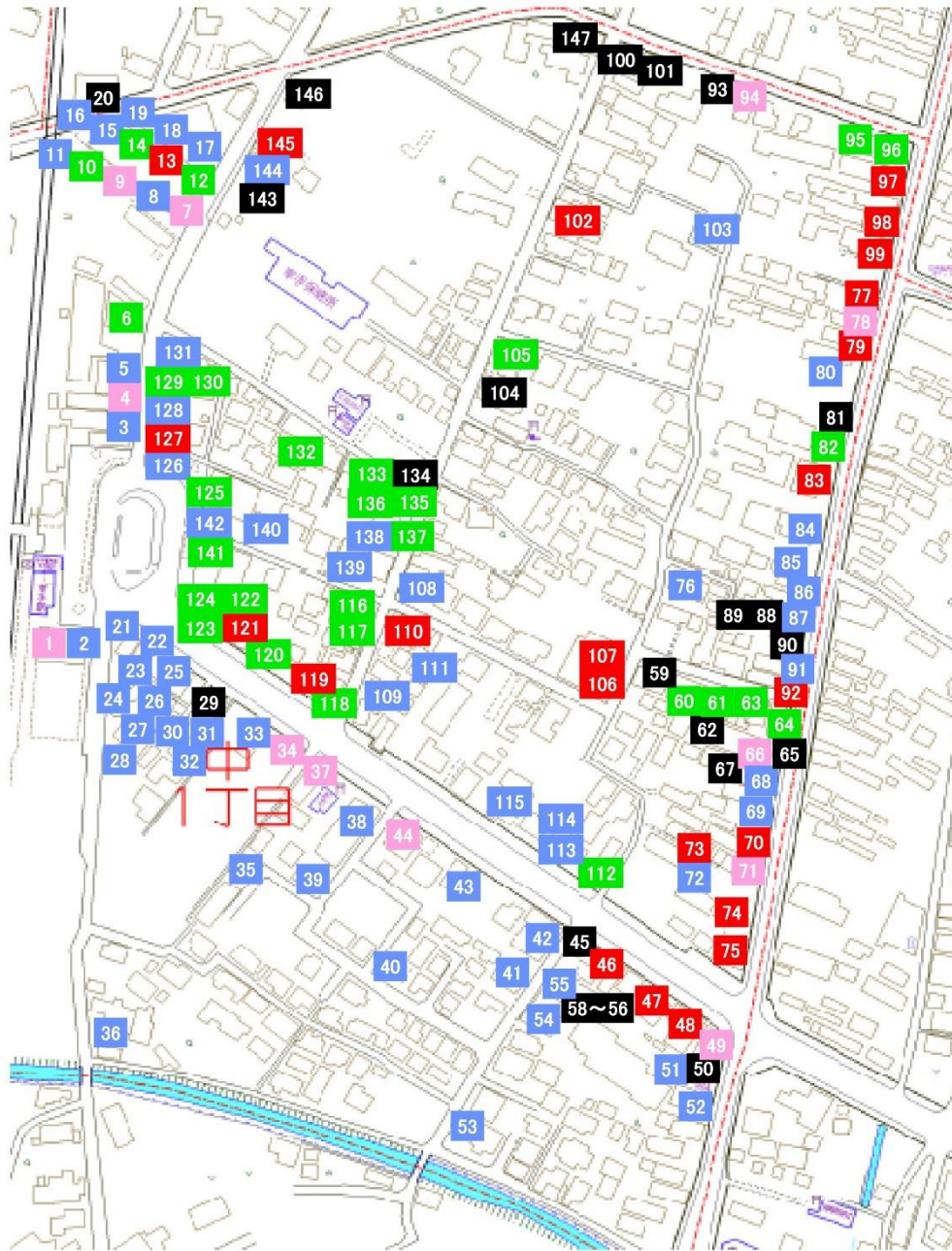
【凡例】

	小売業(食料品)	(例) 生鮮食料品(肉、魚)、酒店、製菓店、スーパー、コンビニ等
	小売業(食料品除く)	(例) 生花店、洋品店、薬局、燃料店等
	飲食業	(例) 食堂、レストラン、居酒屋、ファミレス、カフェ等
	その他の施設	(例) 整骨院、美容室、病院、学習塾等
	空き店舗	

(1) 中1丁目

中1丁目

《地域別立地状況図》



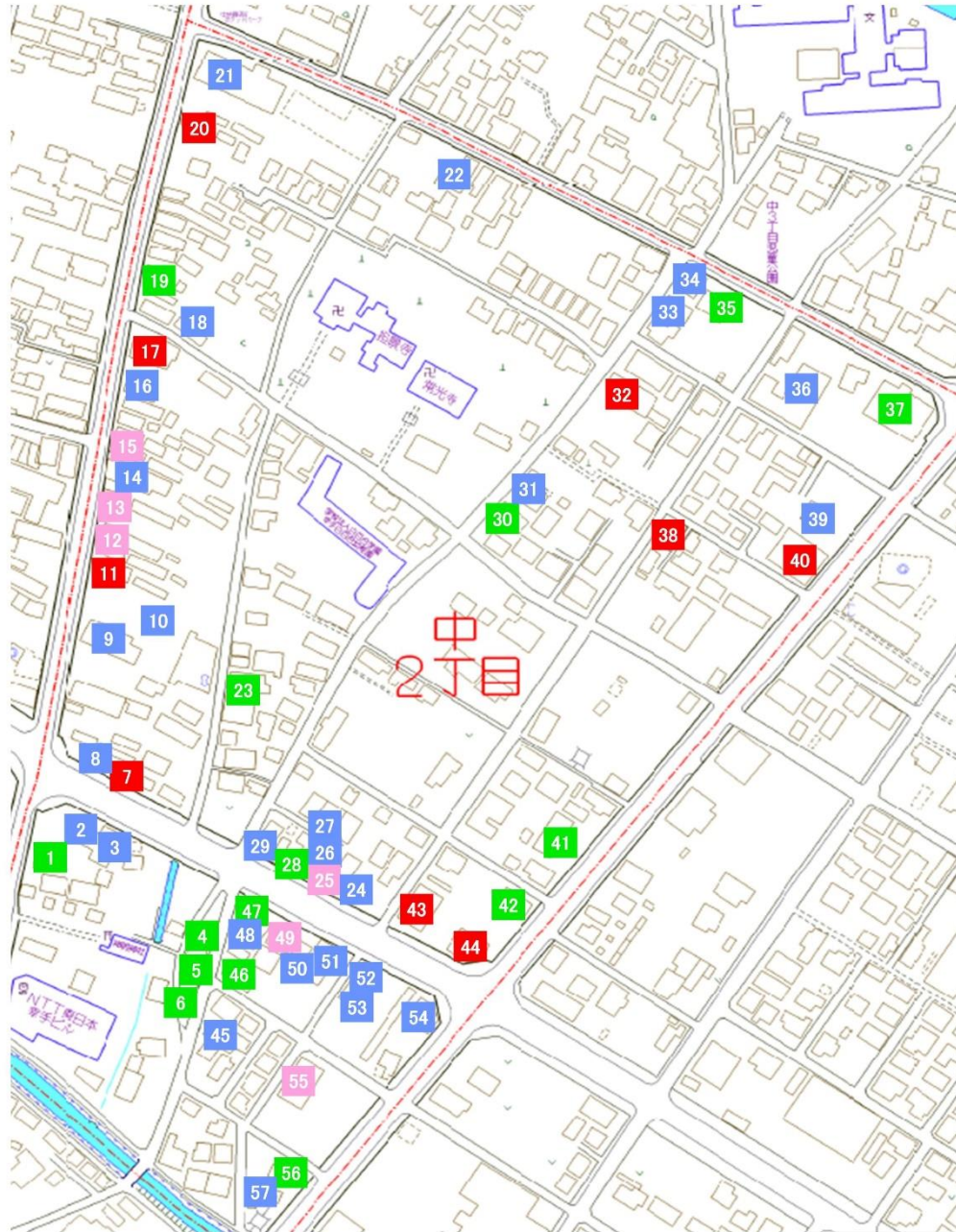
(平成29年12月調査現在により)

- | | | |
|--|--|---|
| : 小売業(食料品) | : 飲食業 | : 空き店舗 |
| : 小売業(食料品除く) | : その他の施設 | |

(2) 中2丁目

中2丁目

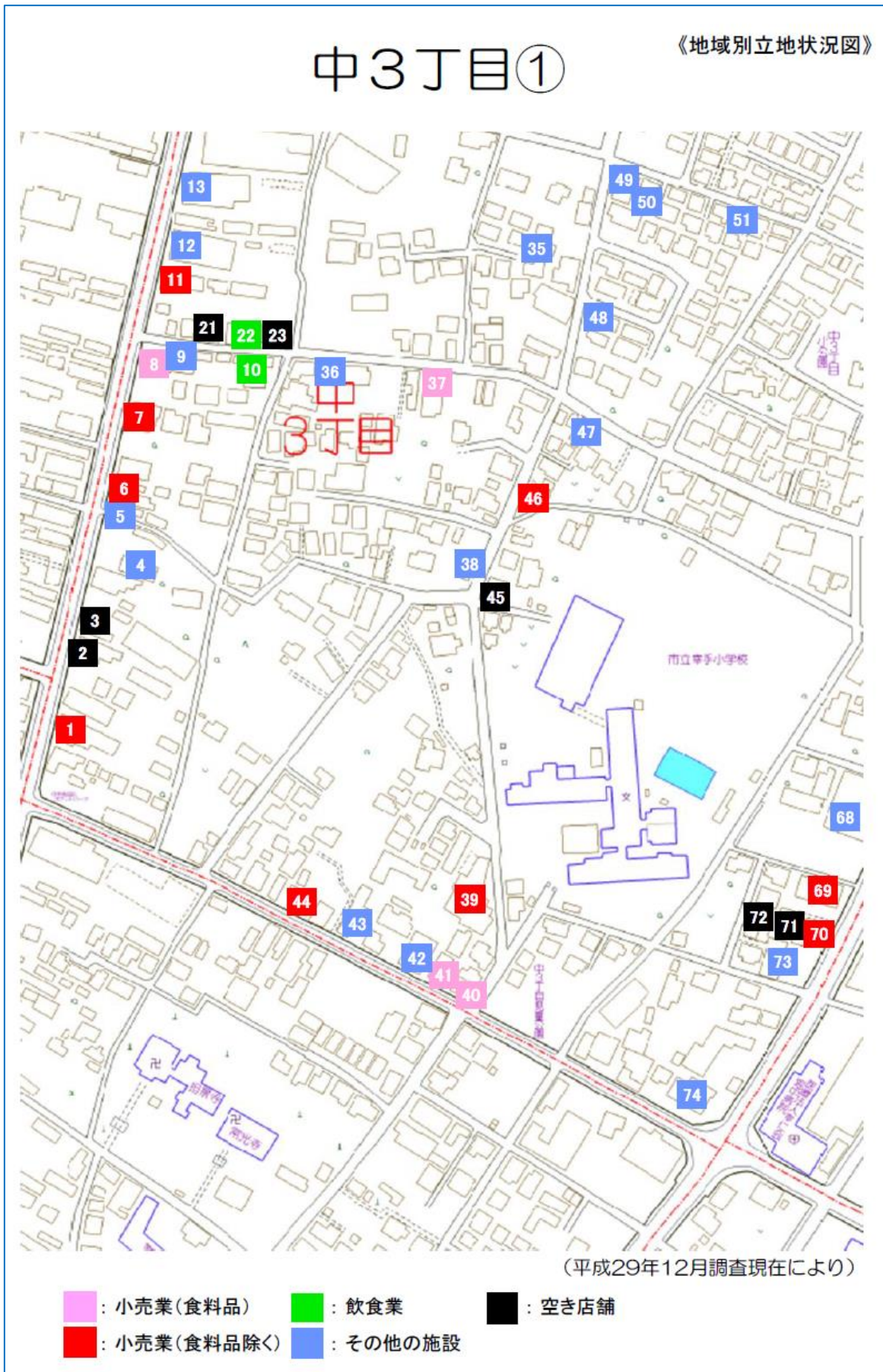
《地域別立地状況図》



(平成29年12月調査現在により)

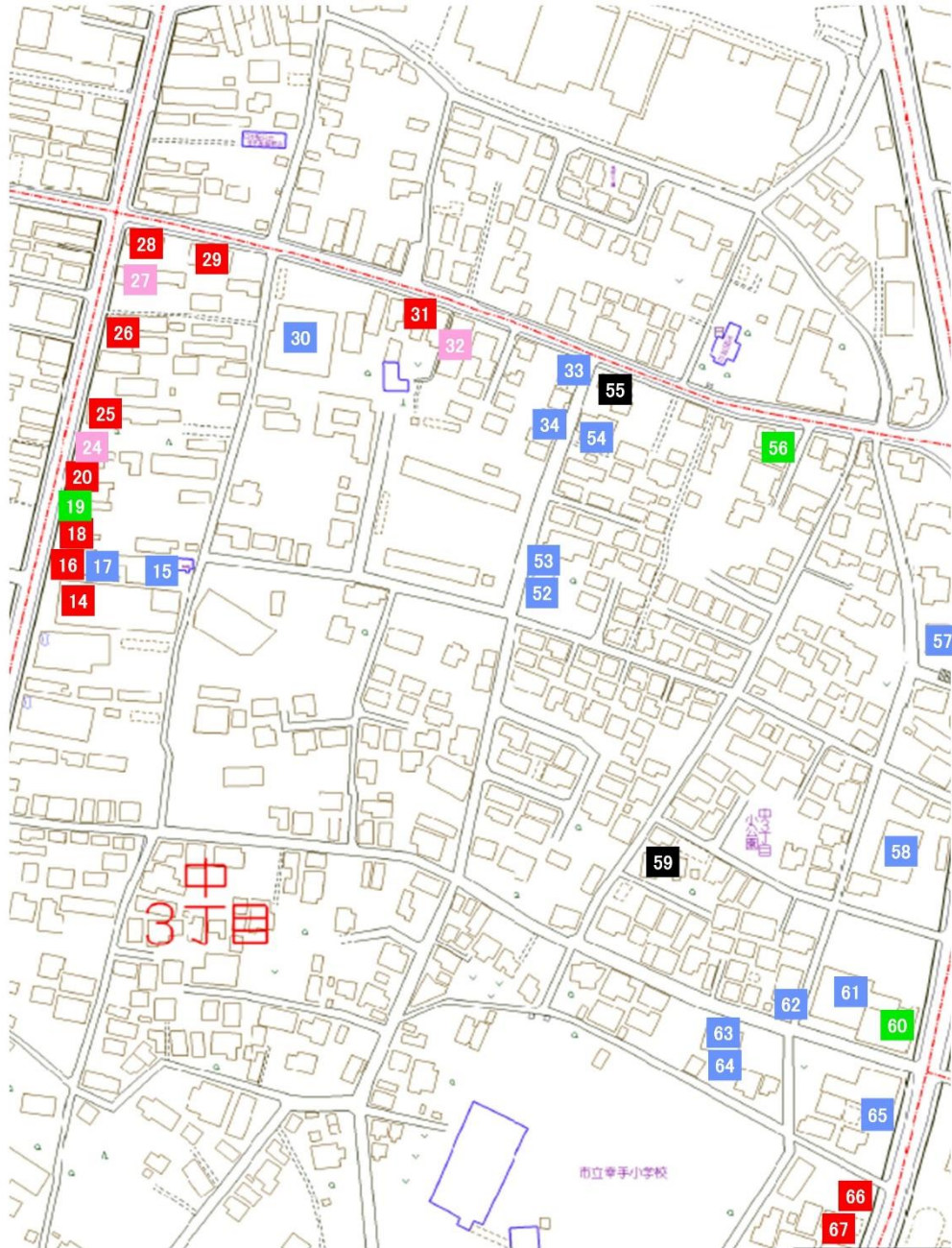
- | | | |
|----------------|------------|----------|
| ■ : 小売業(食料品) | ■ : 飲食業 | ■ : 空き店舗 |
| ■ : 小売業(食料品除く) | ■ : その他の施設 | |

(3) 中3丁目



中3丁目②

《地域別立地状況図》



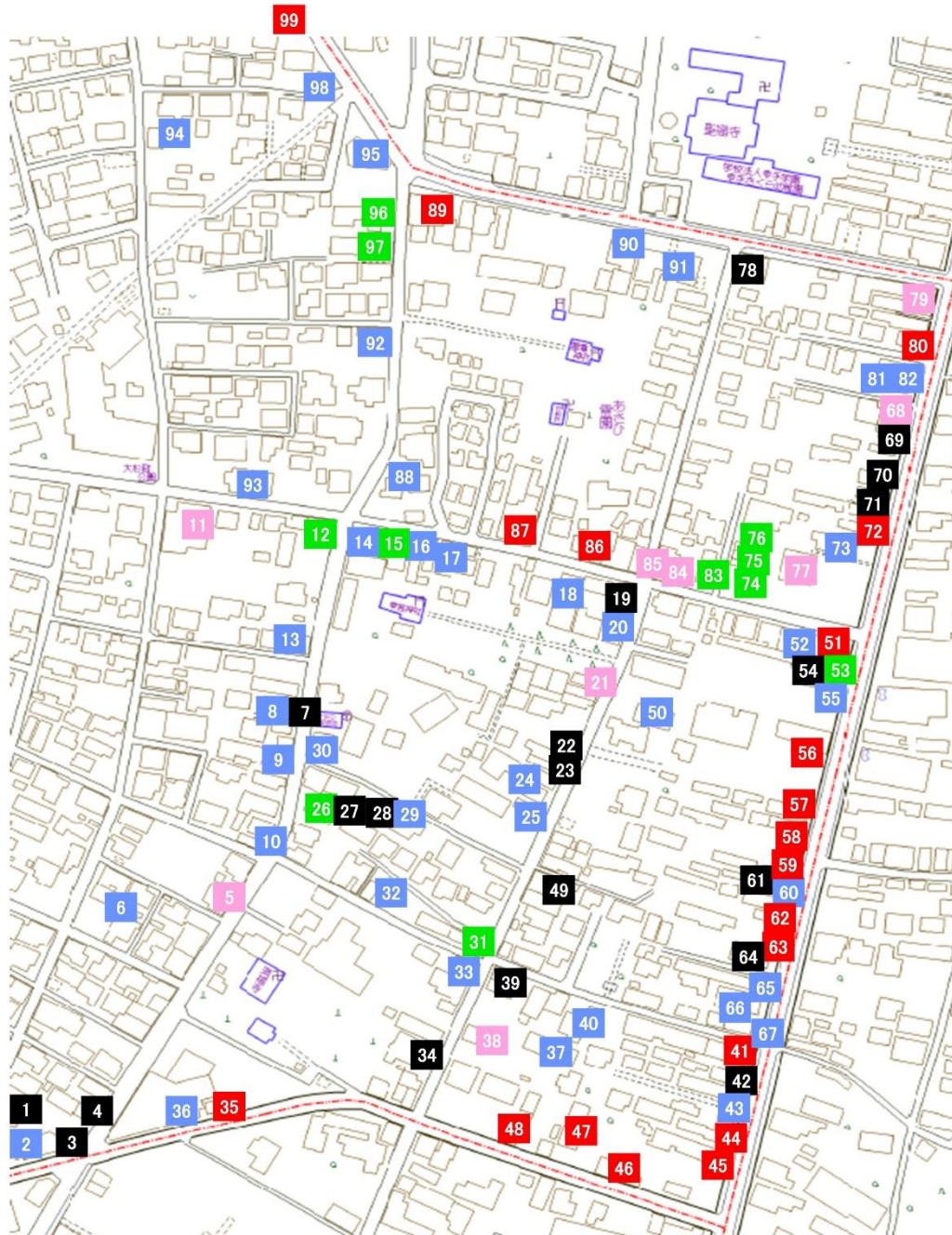
(平成29年12月調査現在により)

- : 小売業(食料品)
- : 飲食業
- : 空き店舗
- : 小売業(食料品除く)
- : その他の施設

(4) 中4丁目

中4丁目

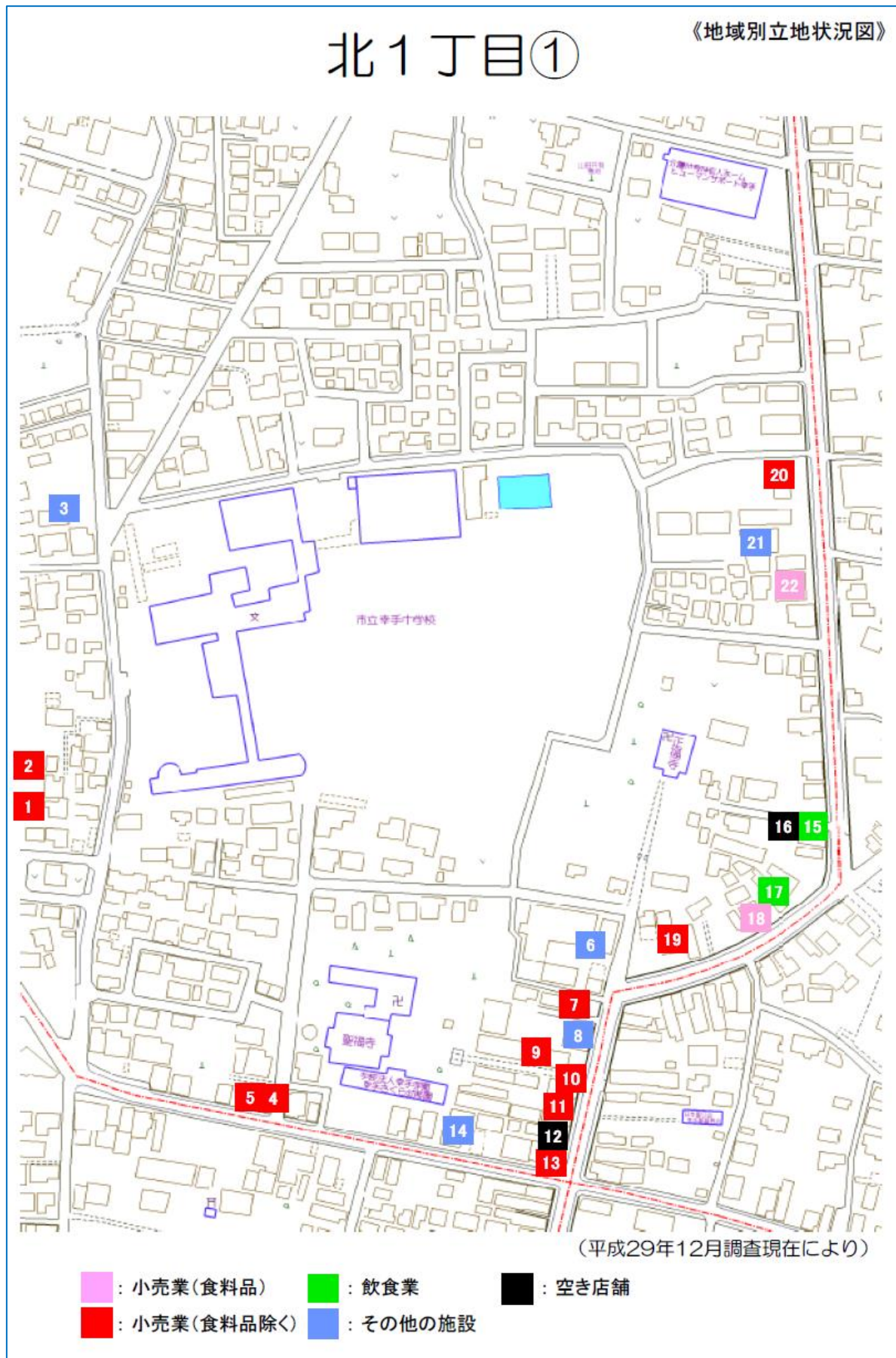
《地域別立地状況図》



(平成29年12月調査現在により)

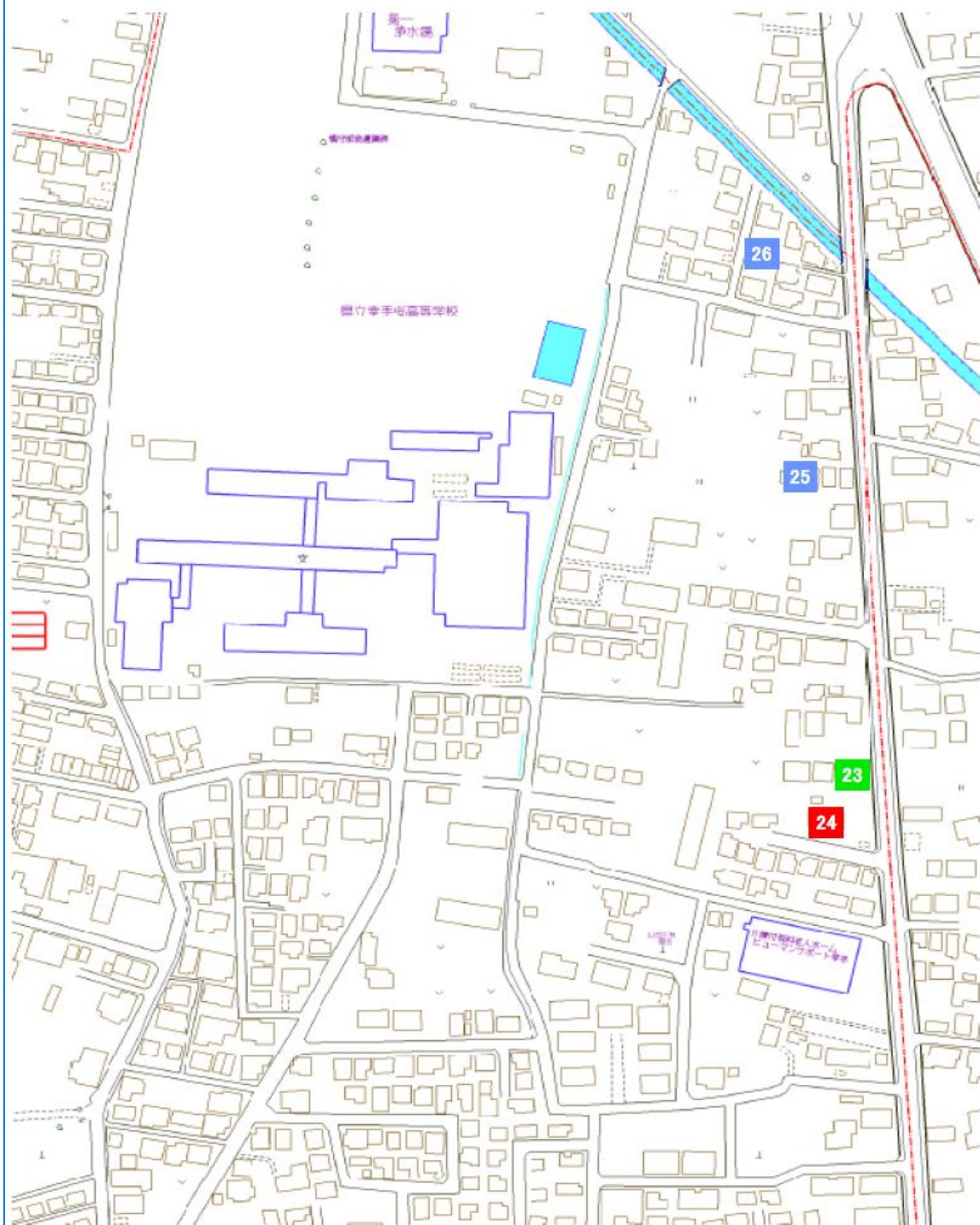
- | | | |
|----------------|------------|----------|
| ■ : 小売業(食料品) | ■ : 飲食業 | ■ : 空き店舗 |
| ■ : 小売業(食料品除く) | ■ : その他の施設 | |

(5) 北1丁目



北1丁目②

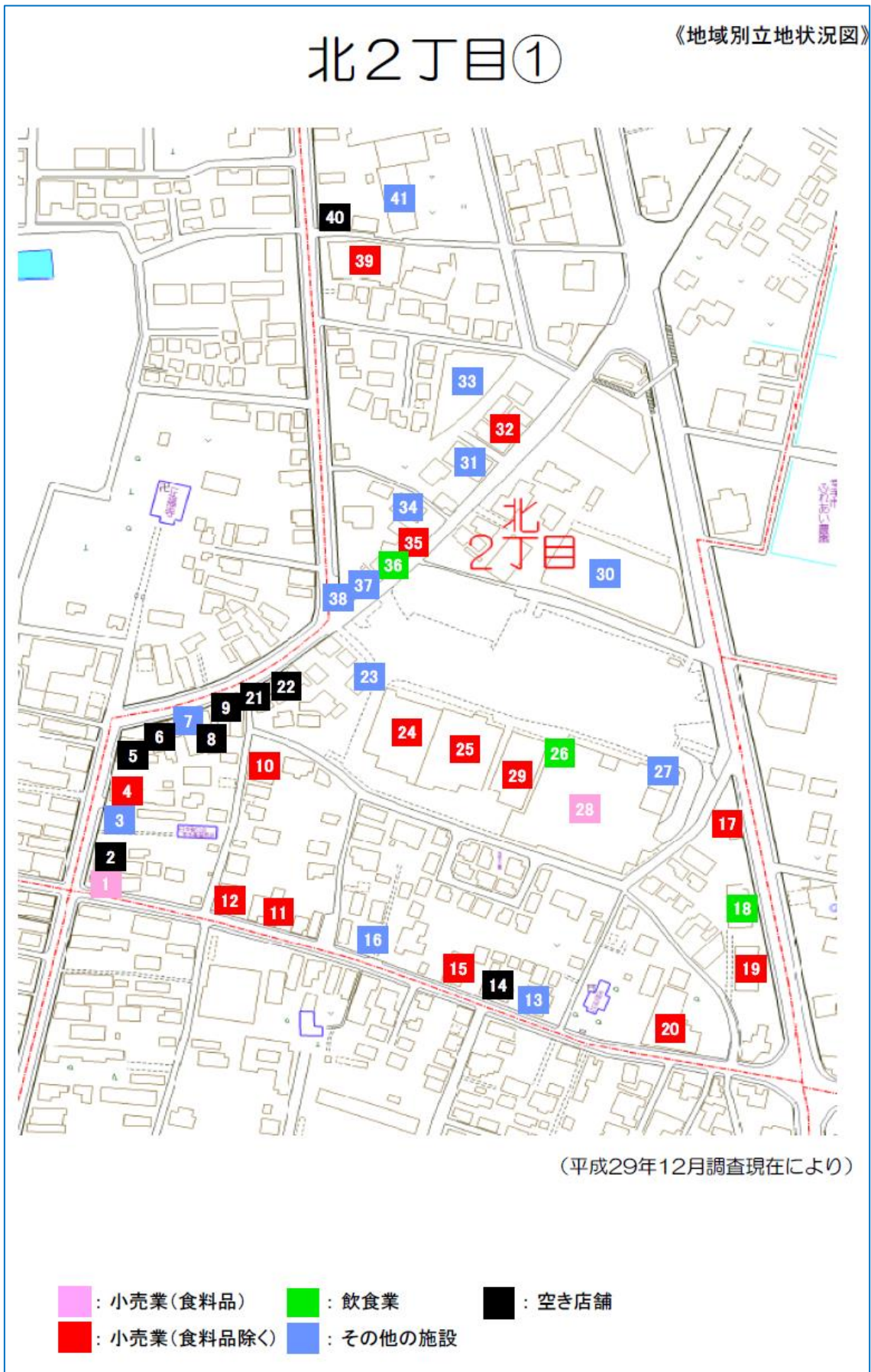
《地域別立地状況図》



(平成29年12月調査現在により)

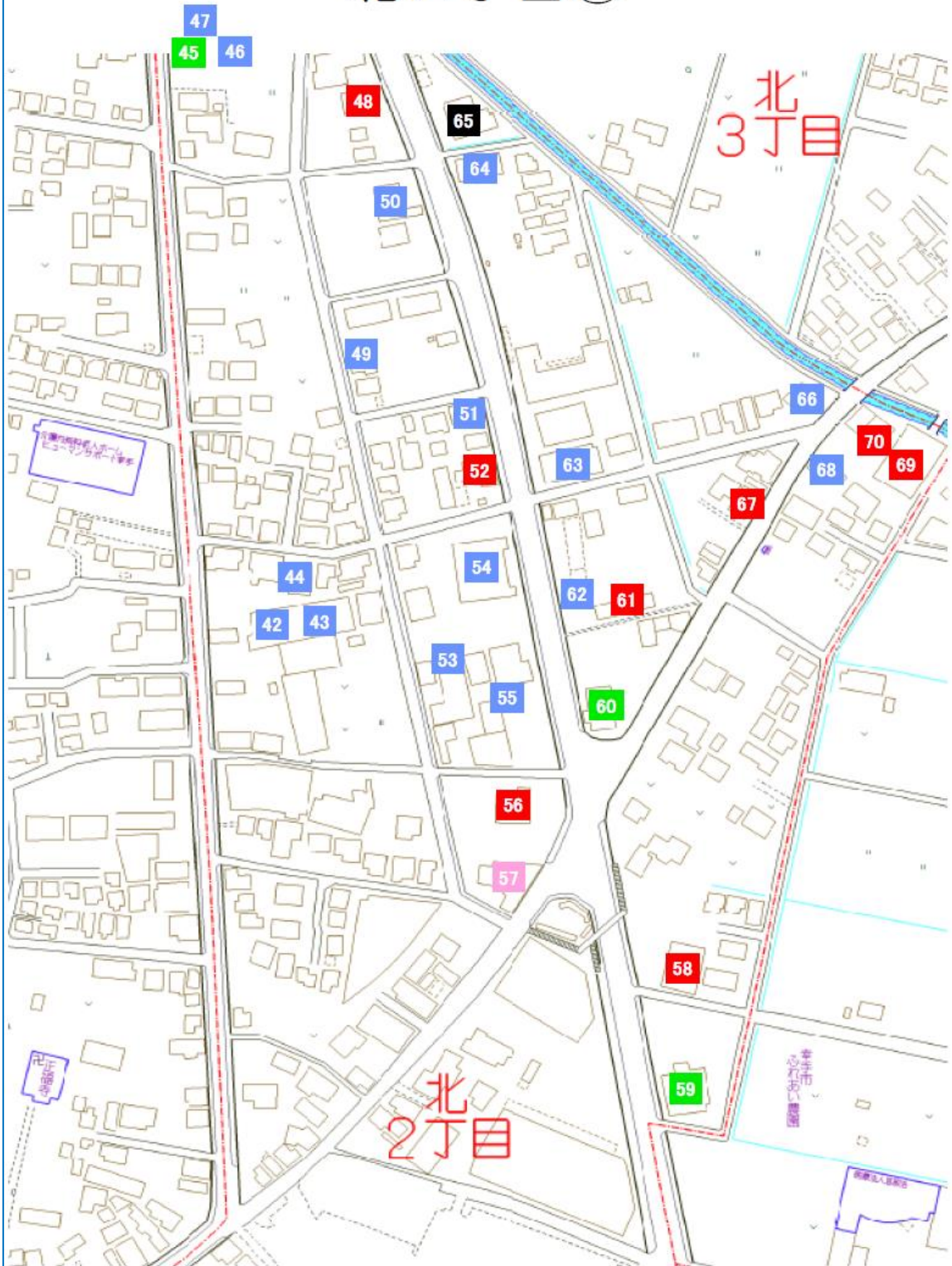
- : 小売業(食料品)
- : 飲食業
- : 空き店舗
- : 小売業(食料品除く)
- : その他の施設

(6) 北2丁目



北2丁目②

《地域別立地状況図》



(平成29年12月調査現在により)

- : 小売業(食料品)
- : 飲食業
- : 空き店舗
- : 小売業(食料品除く)
- : その他の施設

4. 中心市街地活性化基本計画・TMO 構想に基づく取り組み結果

幸手市中心市街地活性化基本計画（平成14年3月策定）・幸手 TMO 構想（平成17年3月策定）における活性化事業への取り組み状況は、下記のとおりである。

それらの事業の中で、現在も事業継続中の事業は25件ある。

■中心市街地活性化基本計画 TMO 構想に位置づけた活性化事業の取り組み状況（件数）

分類	完了済の事業	事業継続中の事業	未着手で検討中の事業	未着手で実施予定なしの事業
A 桜のまち幸手の顔づくり・賑いの中核づくり	2	1	2	0
B 利便と快適性を高める交通体系づくり・基盤づくり	8	5	2	4
C 市民生活をサポートするこだわりの商店会づくり・個店づくり	7	8	6	8
D IT を活用した幸手コミュニティの強化・ネットワークづくり	3	0	0	3
E 「幸」と「桜」の新たな幸手のシンボルづくり・個性づくり	2	2	0	1
F 幸手市民と共に進める中心市街地活性化・TMO づくり	1	1	0	2
TMO 構想事業	5	8	0	4
合計	28	25	10	22

※活性化事業の分類ごとの実施事業の検証は、次頁に記載。

■活性化事業の分類ごとの取組み状況（事業の検証）

A：桜のまち幸手の顔づくり・賑いの中心核づくり

幸手駅東口駅前広場の整備により、バリアフリー化した安全で快適な歩行空間の確保、電線の地中化や緑化により、市の玄関口としてふさわしい都市景観の形成が図れた。継続中の事業としては、幸手停車場線の整備もバリアフリー化や街路樹の整備がされており、幸手駅橋上化の整備も進められている。未着手の事業についても、今後も検討していく必要がある。

事業名			結果
大分類	中分類	事業	
A 桜のまち幸手の顔づくり・賑いの中心核づくり	A-1 駅前の整備	A-1-1 幸手駅東口駅前広場整備事業	実施済
		A-1-2 幸手停車場線街路事業	実施済
		A-1-3 幸手駅の橋上化改築の促進	継続中
	A-2 中心核の整備	A-2-1 市民サービス施設の整備	未着手/継続検討中
		A-2-2 多様な住宅の供給促進	未着手/継続検討中

B：利便と快適性を高める交通体系づくり・基盤づくり

都市計画道路等の整備は、埼玉県によりバリアフリー化など幸手停車場線の整備、中央通り線は歩道の整備が行われ、安全で快適な歩行空間が確保された。

バスサービスの強化は、デマンド交通の本運行が始まり、市街地活性化の新たな役割を果たしている。

バリアフリー化の推進では、旧駅舎へのエレベーター設置や障害者対応型トイレの設置、幸手停車場線の歩車道分離、歩道の幅員の確保、中央線通りの歩道整備、バス停の屋根付きで低床バスに対応したバス停の整備が行われた。

上下水道の整備は、中心市街地の区域について、下水道は平成24年度までにすべて完成し、水道老朽管は平成28年度までに全て更新された。

ポケットパーク及び幸手しあわせ路地は整備を行い、中心市街地の憩いの場として利用されている。

上記事業などを行うことで、中心市街地の利便と快適性を高めることができた。

事業名			結果
大分類	中分類	事業	
B 利便と快適性を高める交通体系づくり・基盤づくり	B-1 都市計画道路等整備事業	A-1-2 都市計画道路幸手停車場線の整備（前掲）	実施済
		B-1-1 都市計画道路中央通り線の整備	未着手/継続検討中
		B-1-2 一般県道幸手久喜線の整備	未着手/継続検討中
		B-1-3 都市計画道路幸手鷲宮線の整備	未着手/予定なし
		B-1-4 一般県道惣新田幸手線の整備	未着手/予定なし

	B-2	ふれあい散策路整備事業	継続中	
	B-3	バスサービスの強化	実施済	
	B-4 バリアフリー 化推進事業	B-4-1	幸手駅舎および駅前広場のバリアフリー化	実施済
		B-4-2	都市計画道路幸手停車場線のバリアフリー化	実施済
		B-4-3	都市計画道路中央通り線のバリアフリー化	実施済
		B-4-4	ふれあい散策路のバリアフリー化	継続中
		B-4-5	バスおよびバス停のバリアフリー化	継続中
	B-5 レクリエーション空間の整備	B-5-1	倉松川の整備	継続中
		B-5-2	神仏・仏閣の緑の保全・整備	未着手/予定なし
		B-2	ふれあい散策路の整備（前掲）	継続中
	B-6 生活環境整備 重点地区の整備	B-6-1	生活道路の整備	継続中
		B-6-2	ポケットパーク整備事業	実施済
		B-6-3	幸手市しあわせ路地整備事業	実施済
		B-6-4	公園整備事業	未着手/予定なし
	B-7 上下水道の整備	B-7-1	幸手市公共下水道事業	実施済
		B-7-2	水道老朽管更新事業	実施済

C：市民生活をサポートするこだわりの商店会づくり・個店づくり

商店会のにぎわい事業は、商店会等の活性化のための補助金の交付及び広報活動の連携を図ってきており、商工会において認定された推奨品を観光マップなどに掲載し、PR等の支援も行ってきた。また、各商店会で行われた、イベントの実施及び環境整備を図ることで商店会の活性化を図ることができた。

各商店会の事業としては、花いっぱい運動、商店会看板・マップの作成、各まつりでの特産品の販売、共同装飾、ナイトバザールなど様々な事業が実施された。

また、各商店会の街路灯については、稼動しているすべての街路灯の建替えやLED化が終了しており、明るく安全な商店会として環境整備を図ることができた。

事業名			結果	
大分類	中分類	事業		
C 市民生活をサポートするこだわりの商店会づくり・個店	C-1	商店会のにぎわい事業	継続中	
	C-2	「こだわりの店」発見・啓発事業	継続中	
	C-3	街なか環境対策「きらり輝く店」コンクール	未着手/予定なし	
	C-4 北町商店会活性	C-4-1	歩道の整備	未着手/継続検討中
		C-4-2	駐車場の整備	未着手/継続検討中

づくり	化事業	C-4-3 空き店舗の活用	未着手/予定なし
		C-4-4 花いっぱい運動の実施	継続中
		C-4-5 商店会ホームページの作成 と共同宣伝の実施	継続中
	C-5 荒宿商店会活性化事業	C-5-1 縁日の復活とイベント開催	継続中
		C-5-2 街路灯の設置	実施済
		C-5-3 空き店舗の利用	未着手/予定なし
	C-6 田宮商店会活性化事業	C-6-1 駐車場の整備	未着手/予定なし
		C-6-2 クリーン作戦の実施	未着手/継続検討中
		C-6-3 イベントの実施	継続中
		C-6-4 商店会の飾りつけ	未着手/予定なし
	C-7 大杉町商店会活性化事業	C-7-1 花のまちづくり運動の実施	実施済
		C-7-2 災害に備えた小公園の整備	未着手/予定なし
	C-8 仲町商店会活性化事業	C-8-1 花いっぱい運動の実施	実施済
		C-8-2 街路灯・街路樹の整備	未着手/継続検討中 ※街路灯は実施済
		C-8-3 歩道の整備	実施済
	C-9 中央商店会活性化事業	C-9-1 歩道の段差の解消	実施済
		C-9-2 マンション化の推進	未着手/継続検討中
	C-10 助町商店会活性化事業	C-10-1 街路灯の整備	実施済
		C-10-2 歩道の整備	実施済
		C-10-3 駐車場・駐輪場の整備	未着手/予定なし
C-10-4 桜を使ったオリジナル商品の開発		未着手/予定なし ※個店では商品開発あり	
C-10-5 イベントの開催		継続中	
C-11 天神町商店会活性化事業	C-11-1 ナイトバザールの実施	継続中	
	C-11-2 一店逸品運動の実施	未着手/継続検討中	

D：ITを活用した幸手コミュニティの強化・ネットワークづくり

ITを活用した商店街コミュニティ開発事業として、ポータルサイト、あすかるさんカード、オンラインショッピングなどが実施されてきたが、実施体制などの問題などから、現在はあすかるさんカードのポイントシステムのみが実施されている。

事業名			結果
大分類	中分類	事業	
D ITを活用した 幸手コミュニティの強化・ネットワークづくり	D-1 商店街コミュニティシステム開発事業	D-1-1 「(仮称) 幸手コミュニティポータルサイト」の構築・運営	実施済
		D-1-2 IT関連機器貸与事業	未着手/予定なし
		D-1-3 ICカード(あすかるさん)高度化事業	実施済
		D-1-4 オンラインショッピング「あすかるe-shop」事業	実施済
		D-1-5 幸手コミュニティ会議室の開設・運営	未着手/予定なし
		D-1-6 幸手市情報特派員養成・活用事業	未着手/予定なし
	E-5 市民情報交流拠点「(仮称) 幸せカフェ」整備事業(後掲)	実施済	

E：「幸」と「桜」の新たな幸手のシンボルづくり・個性づくり

駅前に、権現堂桜堤への案内看板の設置や桜まつり期間中の桜と菜の花の造花の装飾、イベントとして平成25年度より市民まつりが駅前通りで開催が、幸手市青年会議所による市の補助金を活用した幸せの手形のパネルの設置など、駅前の魅力をアップとなった。

商工会を通じてハッピーハンドというネーミングにちなんだ商品や白目米を活かした特産品などの開発を支援した。また、「幸せの小道」回遊事業として、商工会でしあわせの十社めぐり(モバイルウォーキング)の開催と、十社を紹介する絵本やそれをモチーフにした映画が製作された。

幸せカフェの整備として、しあわせCafe Amiが開業、喫茶店としてだけでなく、歌声喫茶やコンサート、市内特産品も販売され、情報交流拠点として運営されてきたが、現在は民間の事業者が活用している。

事業名			結果
大分類	中分類	事業	
E 「幸」と「桜」 の新たな幸手 のシンボルづくり・個性づくり	E-1	「ようこそ幸せづくりのまちへ」駅前魅力アップ事業	継続中
	E-2	「ハッピーハンドグッズ」開発事業	継続中
	E-3	「幸せの小道」回遊事業	実施済
	E-4	コミュニティFM「(仮称) 幸せエフエム」放送事業	未着手/予定なし
	E-5	市民情報交流拠点「(仮称) 幸せカフェ」整備事業	実施済

F：幸手市民と共に進める中心市街地活性化・TMOづくり

コミュニティビジネス育成事業として、空き店舗を活用したチャレンジショップ及び農産物直売所として開設、現在はギャラリーなど交流拠点として活用されている。

事業名			結果
大分類	中分類	事業	
F 幸手市民と共に進める中心市街地活性化・TMOづくり	F-1	コミュニティビジネス育成事業	継続中
	F-2	賑いのへそ「幸手パティオ」整備事業	未着手/予定なし
	F-3	街づくり協定策定事業	未着手/予定なし
	F-4	TMO構想策定事業	実施済

○幸手TMO構想事業

市の中心市街地活性化の基本方針に基づき、幸手市商工会及び各商店会等で行われてきた事業である。

- 空き店舗対策として、情報拠点・憩いの場としてのしあわせ Café Ami 及びチャレンジショップのプラスが設置され、起業支援、交流拠点として活用された。
- 北町商店会の案内看板や田宮商店会のマップ作成などが行われた。
- 銀行駐車場を利用しての夕市の開催、朝市については、中3丁目地内 広場で開催されてきた。
- 個店の商品や技を発掘して、商店会ホームページ等を通じて市内外への販路拡大及びまちづくりや商工振興となる事業の支援が行われた。
- 幸手停車場線（助町商店会内）にハッピーハンドの手形プレート設置、旧日光街道沿いの商店等に藍染のれんの設置が行われた。
- その他、TMO事業紹介のホームページの運営やドッグランの設置・運営、しあわせ Café Ami を利用してのコンサート、さくらグッズなど特産品の開発、しあわせの十社めぐり、空き店舗対策や商店会・個店の支援、新たな事業及び歴史・文化を活用した事業など様々な事業を実施することで、中心市街地の活性化を図ってきた。

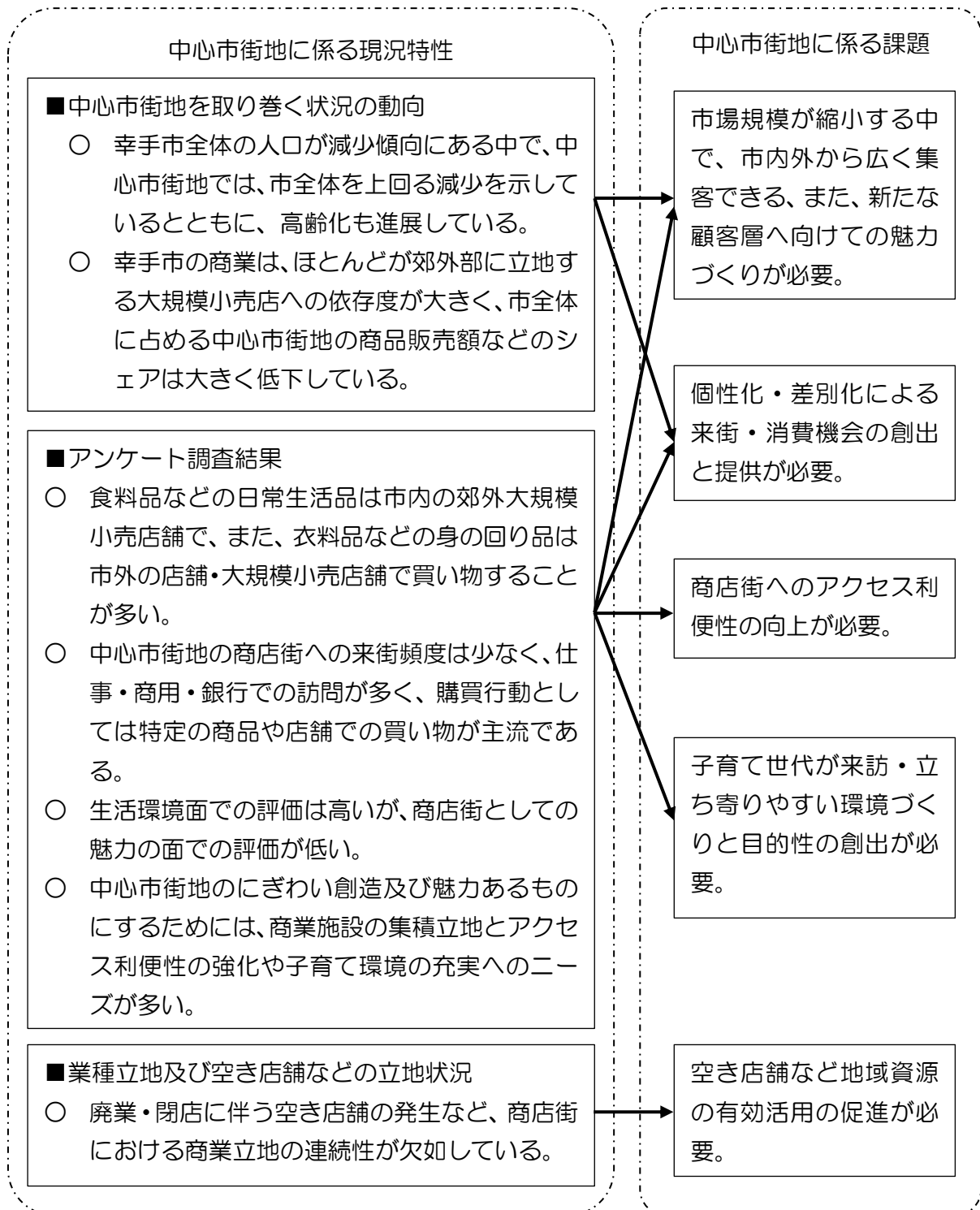
事業名			結果
大分類	中分類	事業	
幸手TMO構想事業	① 「家族・仲間と共に」：少子高齢社会や情報社会を支えるために	1 空き店舗対策事業	継続中
		2 駅前大型空き店舗テナントミックス事業	未着手/予定なし
	② 「顧客・生活者と共に」：商店会と個店の経営革新を促すために	1 商店マップ作成事業	継続中
		2 幸手朝市・縁日運営事業	継続中※現在休止中
		3 「幸手の逸品・逸材」発掘事業	継続中
		4 「幸手彩（再）発見」まちおこし事業	継続中
		5 TMO幸手ホームページ運営事業	継続中

	③ 「ペット・音楽 と共に」：高齢社 会の元気づくり と癒しのために	1 ペット（犬）にやさしいまちづくり事 業	実施済
		2 ペットと共に「ドッグラン」施設整備 事業	継続中
		3 ミニコンサート「ハッピーコンサ ート」運営事業	継続中
		4 ミニFM「幸せエフエム」運営事業	未着手/予定なし
		5 中三丁目ポケットパーク整備事業	実施済
	④ 「幸手の歴史・ 文化と共に」：新 たな市民文化の 振興のために	1 幸手宿「ハッピーハンド街道」整備事 業	実施済
		2 「特産品」開発・普及促進事業	継続中
		3 「幸せの小道」回遊・運営事業	実施済
		4 「幸せの絵手紙」コンテスト運営事業	未着手/予定なし
		5 幸手「まち並みづくり運動」推進事業	未着手/予定なし

5. 中心市街地の課題の整理

中心市街地を取り巻く状況の動向や市内小中学校の保護者へのアンケート調査、業種立地及び空き店舗などの立地状況などから、中心市街地に係る次のような課題が抽出される。

(1) 現況特性に基づく課題の抽出



(2) 既往計画に基づく事業の継続性の検討

幸手市中心市街地活性化基本計画（平成14年3月策定）・幸手 TMO 構想（平成17年3月策定）における活性化事業において、「現在も事業継続中の事業」、及び「未着手だが検討中の事業」について、前項で抽出した中心市街地の課題に応じた、継続事業の取り組み課題を下表のように整理した。

なお、「未着手で検討中の事業」の中で、事業時期が未定な道路整備と商店街が事業主体となって取り組む事業については、検討から除外した。

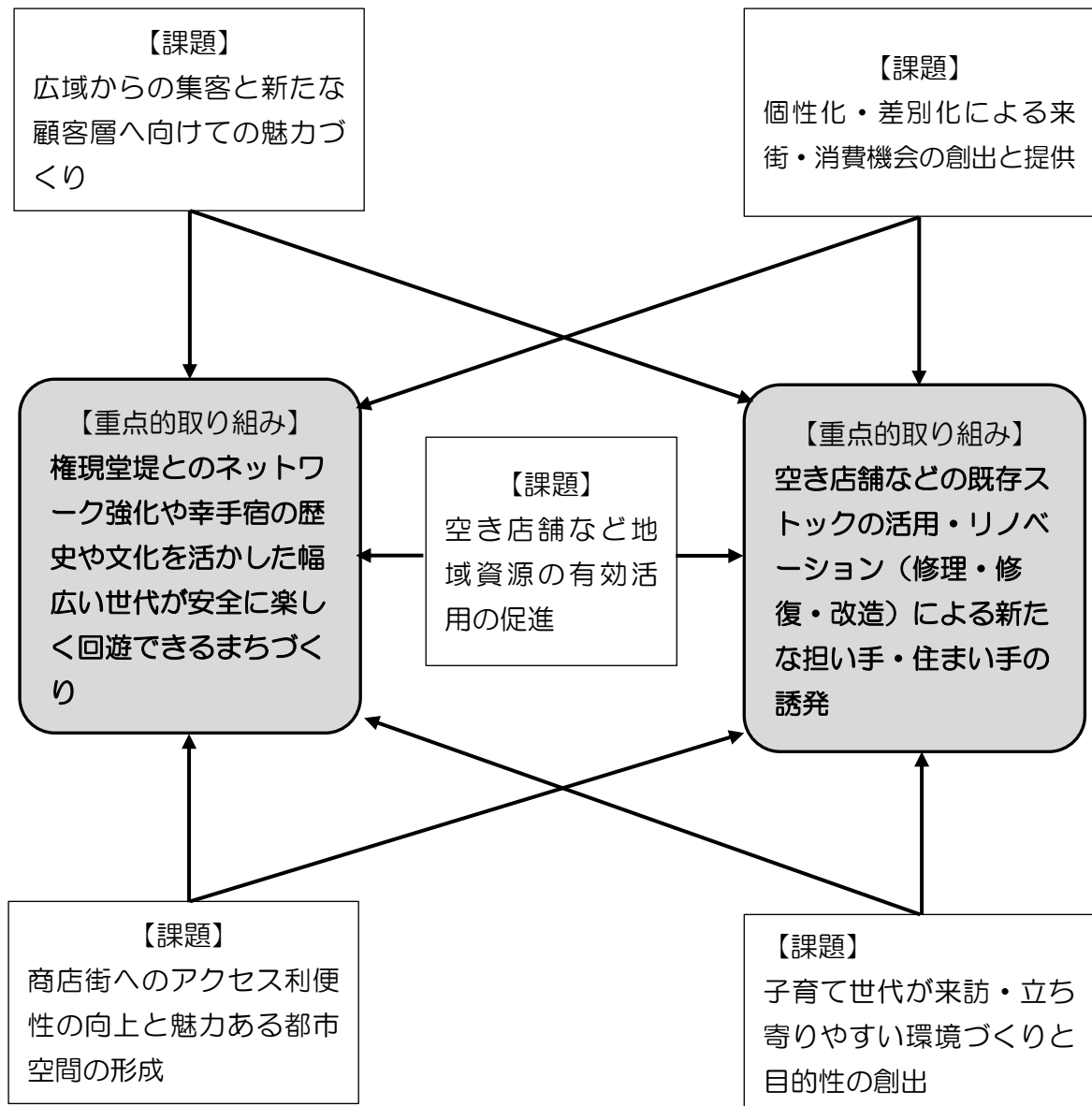
既往計画 の継続事業	課題に基づく 対応視点	広域からの 集客と新たな 顧客層へ 向けての魅 力づくり	個性化・差別 化による来 街・消費機 会の創出と 提供	商店街への アクセス利 便性の向上 と魅力ある 都市空間の 形成	子育て世代 が来訪・立 寄りやすい 環境づくり と目的性の 創出	空き店舗な ど地域資源 の有効活用 の促進
幸手駅の橋上化 改築の促進				東西市街地 の往来利便 性		
市民サービス施 設の整備					子育て世代 の支援など の環境づく りへの貢献	空き店舗や 既存ストック の有効活用 の促進
多様な住宅の供 給促進					新たなマー ケットとし ての子育て 世代の居住 促進	低未利用地 などの有効 活用促進
ふれあい散策路 整備事業				歩行者・自転 車の往来利 便性		
ふれあい散策路 のバリアフリー 化				歩行者・自転 車の往来利 便性		
バスおよびバス 停のバリアフリー 化				駅前交通環 境の向上		
倉松川の整備				散策ルート づくり		
商店会にぎわい 事業			商店街の主 体的取り組 みが必要			
「こだわりの店」 発見・啓発事業			個店の経営 改善努力が 必要			
「ようこそ幸せ づくりのまちへ」 駅前魅力アップ 事業	中心市街地 外への取り 組みアピー ルが必要					

「ハッピーハンドグッズ」開発事業	中心市街地外への取り組みアピールが必要				
コミュニティビジネス育成事業					新規創業などの支援・招致への取り組み強化が必要
空き店舗対策事業：しあわせのえきPLACE(プラス)					多面的な事業展開が必要
商店マップ作成事業	新たな魅力・話題性が必要	情報発信の継続的取り組みが必要			
幸手朝市・縁日運営事業	新たな魅力・話題性が必要				
「幸手の逸品・逸材」発掘事業	新たな魅力・話題性が必要	新たな逸品・逸材の創出が必要			
「幸手彩(再)発見」まちおこし事業		自発的取り組みグループの啓発が必要			
TMO幸手ホームページ運営事業	新たな魅力・話題性が必要	SNSによるタイムリー・新鮮な情報発信が必要			
ペットと共に「ドッグラン」施設整備事業	中心市街地と連携した取り組みが必要				
ミニコンサート「ハッピーコンサート」運営事業		歌声喫茶などでの集客を商店街への波及誘発が必要			
「特産品」開発・普及促進事業		個店・事業所の主体的取り組み展開が必要			
既往計画の継続事業 課題に基づく対応視点	広域からの集客と新たな顧客層へ向けての魅力づくり	個性化・差別化による来街・消費機会の創出と提供	商店街へのアクセス利便性の向上と魅力ある都市空間の形成	子育て世代が来訪・立ち寄りやすい環境づくりと目的性の創出	空き店舗など地域資源の有効活用促進

(3) 重点的な取り組みの必要性

中心市街地のにぎわいと活力を創造するためには、郊外大規模小売店との差別化と、新たな担い手と住まい手の誘発による多様性を備えた街づくりが求められる。

そのため、今後の中心市街地におけるにぎわい創造へ向けての取り組みにおいては、下図のような重点的な取り組みが求められる。



6. 中心市街地のにぎわい創造へ向けての意見聴取

(1) ワークショップにおける意見聴取

中心市街地のにぎわい創造へ向けての改善要望や取り組み内容などについて、各方面からワークショップ形式による意見聴取を4回行った。

各回の実施概要と提示された意見は、以下のとおりである。

■ワークショップの開催概要

開催日時	会場	対象者 (参加人数)
平成30年1月16日(火) 10:00~12:00	ウェルス幸手ソサライズクラブ室	女性グループ (6名)
平成30年1月24日(水) 10:00~12:00	ウェルス幸手ソサライズクラブ室	女性グループ (4名)
平成30年1月31日(水) 19:00~21:00	幸手市役所第二庁舎第5会議室	幸手の観光地化、インバウンド等を自主的研究しているグループの有志 (13名)
平成30年2月9日(金) 19:30~21:30	幸手市役所第二庁舎第5会議室	商工会青年部 (10名)

幸手市中心市街地にぎわい創造へ向けてのワークショップ 女性グループ（意見集約）

日時 平成30年1月16日(火) 10:00~12:00

場所 ウェルス幸手ソサエティクラブ室

-
- 桜の時期だけではなく、その他の時期も多くの方に歩いてもらえるようになると良い。東松山で開催される、歩きメインのスリーデーマーチというイベントがある。
 - 市役所前のイルミネーションが結構有名で低価格の物販も魅力。観光メッカ化してみてもいい。
 - 市の情報が市外の人に伝わっていない。宣伝方法重要。以前からPR弱い。
 - うまいもんまつりのラーメン好評だった。定期的にやった方が良さそう。幸手ラーメンストリートなど。
 - まちなかがごちゃごちゃして道も悪い。歩道に段差があり怖くて子どもを走らせられない。まちなかを避けてしまう。
 - 古河市はカフェマップを作成している。カフェのはしご歩きを行って来たが、歩きやすく子ども連れも参加しやすい。
 - 個店は入りづらい。個店の魅力を上げる必要がある。
 - 空き店舗、どこが使えるのか分からない。ハンドメイドなど自分でモノを作っていて売りたいと思っている人が意外に多い。
 - 集えるような場所があったらいい。
 - 山手線のガード下にはそこでしか買えないものが売っている。
 - 店舗やノウハウを後の人へ継承する騎西のまちおこしは参考になるのでは。
 - 幸手宿の歴史にストーリーがあると面白い。陸王やのぼりの城の経済効果は凄いな。
 - 幸手宿ののれんは良かった。
 - 幸手の若者の間では、汚く見えるような個人店の居酒屋に行くのがかっこいい感覚があるよう、幸手愛がすごい。
 - 宮代町、何か住みやすいと聞く。小金井市からの移住者からもそのよう。
 - 宮代町、民間で好きなようにやらせてもらっている。
 - まちなかに歩いて行けるところに子どもを遊ばせられる公園がない。自分の時は久喜まで行っていた。また、ウェルスのプレイルームがまちなかにあれば子どもを置いてランチに行ける。そうすれば個店との繋がりが増える。
 - 自転車交通手段の人が多いため、歩道の整備は必要だと思う。
 - 元々幸手に住んでいる人からよそ者扱いされるとの偏見があるがそんなことはない。逆に何でも聞いて欲しい。
 - 面白い取組みをしている人は多いので、もっとフォーカスしてあげると良い。駅で周知等。
 - 新しい駅が完成しても下車して幸手らしさがないとダメ。
 - 駐車場マップが必要。使って良い駐車場の有無や位置がわからない。駅にも表示。
 - ポケットパークは怖くて使いづらい。電球を工夫すれば印象変わる。

- 中心市街地に来ていただくきっかけ作りが必要。
- イルミネーション・灯籠など。(夢明り大市など)
- 台湾の燈籠を飛ばすイベント。子どもや学生のアイデアでやってみては。
- セタのとき子どもに願い事を書いてもらい店に飾ってもらっても良い。学校で書いてもらうのはどうか。
- 桜の絵の掲示PRが弱い。子どもの作品の展示位置を教えると保護者も見に来て良い。
- アート散歩知らなかった。PRが弱い。
- 子どもの作品を個店に飾れば理由がなくても店に来てもらえる。個店は新規客をどう取り込むかにかかっている。
- 駅から権現堂まで大勢で手を繋いで歩いて往復する。ギネスみたいなイベント。
- 市民の声、住所や名前を書くのが嫌だ。意見を言える場所を増やして欲しい。
- 商店街の中に寺子屋や地域の人の見守り隊のような大人の目があって、子どもを預けられる場所があると良い。
- 宮代町の笠原小学校は利用開放されている。
- 太田市の図書館は駅近で良い施設。見たら行ってみたいと思う。参考にして欲しい。
- 西口とまちなかの施策をリンクさせないといけない。



幸手市中心市街地にぎわい創造へ向けてのワークショップ 女性グループ（意見集約）

日時 平成30年1月24日(水) 10:00~12:00

場所 ウェルス幸手ソシヤルクラブ室

- 中心市街地へは、子どもが行くから行くことが多い。
- アンケート結果は如実に自分たちの生活と合致している。
- 子どもの送迎は久喜駅まで行っていて幸手駅は使っていない。
- 上庄カフェと永文商店は子どもも知っていた。これらは学校で紹介された。
- アミヤプラスはどのような施設か知らなかった。
- 子どもと自転車で出かけると子どもも楽しいよう。目の前にスーパーがあるのに駄菓子屋（わくわく感）には行く。
- 低学年は親と一緒に自転車に乗らなければいけない制約有り。自転車で行きやすい、走りやすい環境が整っているといい。
- 車はお店の近くに置けないと、利用しづらい。飲食店も必要。
- まわりは発達しても、商店街は古いまま残した方がいい。
- 東武動物公園、清水公園、アンデルセン公園。子どもが遊べるところがあると外からも人が集まる。
- デマンド交通は利用し難い。東松山市ではデマンドのように使える。
- スーパーが多く、ジョイフル本田は有名で市外からも人が来る。
- 高校生のアイデアを取り入れたり、商品開発に携わってもらったり、さらにチャレンジショップをやってもらう例もある。子どもを関わらせれば親も来る。
- ママ世代にリフォームやネイルがプロ並みに上手な人もいる。そういう人たちを活用する。
- 海外旅行客からすると都心と幸手は近いので、インバウンドの取り組み強化。
- 中々取り上げられない人に注目した冊子を作成しているところもある。
- コミュニティが生まれて子どもを連れて行ける場所が欲しい。子どもが遊べる場所も必要。
- 発信力の強化。宮代は発信にお金をかけている。
- さくらファームでの物産フェアをまちなかでやってみては。



幸手市中心市街地にぎわい創造へ向けてのワークショップ
幸手の観光地化、インバウンド等を自主的研究
しているグループの有志（意見集約）

日時 平成30年1月31日(水) 19:00～

場所 幸手市役所第二庁舎第5会議室

-
- ・ 駅近に観光案内所兼歴史研究所が欲しい。
 - ・ ガイドの会のところへ観光客は来ている。満足度は人それぞれだが、土手に行くまでにまちのことを知りたい人がいる。
 - ・ グリーンコアには昨年約1,000人の外国人宿泊者がいた。マレーシア、中華系の富裕層の子ども世代が多く、大半はアニメに興味を持っている様子。景色や食には関心薄印象。
 - ・ 野田市の忍者体験が人気。甲冑を着させたりする体験もうけるか。
 - ・ 歴史は歴史、外国人は外国人で別軸の取り組みでいいのでは。
 - ・ 飲食店が少ないので、飲食店を増やした方がいいが、新規参入は難しい。
 - ・ 商店街の回遊性を高める。伝統・歴史は意外と新しい。
 - ・ チャレンジショップもあってもいいのでは。
 - ・ 駅近に飲食店お断りの不動産多い。
 - ・ 車が停められない所には行かないという選択肢になる。子どものいる家庭は尚更。
 - ・ 市外から来た人にとって、一方通行の道が多く運転が難しい。
 - ・ 中央通りを一方通行にして歩道も広げる。※人の流れが偏るとの逆意見も有り。
 - ・ 歩行者天国にするなら車を進入させないこともあり。フランスのような15分単位のパーキングスペース。
 - ・ まちなかにたまり場をつくる。
 - ・ 空き店舗を投資物件にする。
 - ・ 子どもを巻き込んだ何か。子どもの作品を展示したり、子どもが店員をやったりするのも。
 - ・ プログラミング教室。
 - ・ 行政からは、金銭的援助ではなくお墨付きが必要。
 - ・ HP 所有企業が極めて少ない。
 - ・ ふるさと納税がネットからできないのは不便。
 - ・ 幸手の米は特別美味しい訳ではない。
 - ・ 駅前にあんなに駐輪場があるまちはダメ。飲食店が多くないと。
 - ・ 鴨が有名。他に合鴨を取り上げた取り組みはないので独占して有名にすることも有り。
 - ・ 市内に外国人は結構いる。共存も進んでいる。牛肉が人気。インドネシアではうどん人気。
 - ・ 情報共有をフラット且つネットに馴染ませる。
 - ・ アスカルのクラフトマーケットは大盛況。洒落たハンドメイド商品を販売できるテナントのような場所があると、子育てしながらビジネスしたい人には便利かも。

- 女性を集めると盛り上がりやすい。
- シェアファクトリーをつくる。ミシンとかを用意して、ものづくりしたい人を集める。



幸手市中心市街地にぎわい創造へ向けてのワークショップ 商工会青年部（意見集約）

日時 平成30年2月9日(金) 19:30～

場所 幸手市役所第二庁舎第5会議室

-
- 宇都宮の例のように学生が運営するカフェ等の店をつくる。地元の食材の利用や、空き店舗対策にもなる。学生を絡めることで更なる学生、若者の集客ができる。
 - 空き店舗を商工会や市が借り上げてチャレンジショップにする。やる気のある人の支援。
 - 駐車場がよくわかる看板や案内チラシの作成。
 - 中央通りを一方通行にして両脇を駐車場にする。
 - 幸手は車の社会なのに交通が不便、駐車場が少ない。
 - 家賃が高いことが弊害になっている。久喜と同額なら魅力で負ける。
 - やるきのある人を集めて、互いに高めあうことが必要。
 - 店を頑張らなくても不動産収入で生活に困らない層も問題。
 - リサイクル市や物々交換市。
 - 市役所入口交差点の右折解除をすればまちなかに来る人が増える。
 - 商店街に車を入れること自体がダメ。車を入れた商店街の成功例はない。
 - 集客には何より食。食料品店がコンパクトないと。一つの大きなスーパーを作ってしまうのも一手。そこにしかない食料品店を出すことも。
 - 商店街を別の場所に新たに作ってしまった方が早い。東口・西口駅前に集約することも。
 - 大型店と同じものを売っていてはダメ、そこにしかないものが必要。
 - 現実的には、市役所入口の右折解除が第一。それと商店街の人のやる気。
 - 宿場町色を押し出したまちづくりで近隣と差別化する。
 - 人気店や大型店を活用した路線では、春日部や越谷には勝てない。
 - 駐車場を整備しても店がなく、来る理由がないので無意味。
 - シャッター街に浅草の仲見世のように絵を描く。
 - 急な変化を見込めないが、地道に一丸となって取り組むが大切。
 - 自転車の貸し出しも必要。
 - 市街地に来る理由を作らせる。保育施設を市街地に作りそのまわりに店をつくる。
 - 商店街にアーケードを作り店舗を密集させる。レイクタウンのように。
 - 店を出したい人へ市から補助金を出す。
 - 中心市街地に行く目的を作る。（個々の出店だけでは人を集められない。）
 - 人がいるところに新しく商店街をつくる。南三陸のように。
 - 次世代につなげるための取組みが必要。
 - 中心市街地を紹介するCGや幸手宿のジオラマを作製しては。

(商工会)

- 全体を通して、『にぎわいをつくるための気運が高まっていない』、『後継者がいない』ことが課題と捉えている。
- 何年かしたらなくなる可能性のある商店会もある。
- 今は個店支援の強化に力を入れている。

商工観光課から青年部へ質問

(問) 昨年実施した『うまいもんまつり』のようなイベントに対してご意見伺いたい。
活性化へ効果はどうか。

(答) 単発で持続性もなく効果はないと思う。
夏祭りの時、あれ程人出があっても何も仕掛ける気がない様子(店が開いていない)
からもイベントがきっかけとなることはないと思う。



(2) 幸手市商工会の取り組み要望

幸手TMO構想の事業実施に基づき、幸手市商工会の今後の活性化事業への短期的な（当面の）取り組み要望として、下記の事業が提示された。

	TMO 構想事業名	新事業名	事業内容
修正継続事業	①-1 空き店舗対策事業	しあわせのえきプラス支援事業	観光拠点や物産店と合わせた、市民情報交流拠点としての活用。賃料・修繕費・改修費が必要。
	②-1 商店マップ作成事業	商店街等支援事業	商店会支援、らき☆すた、マルシェ等のイベント、逸品逸財、グループ支援事業等をまとめる。また、商店のスキルを上げるためのセミナーやまちゼミ等についても検討。
	②-2 幸手朝市縁日運営事業		
	②-3 幸手の逸品逸財発掘事業		
	②-4 幸手彩（再）発見まちおこし事業		
	②-5 TMO幸手ホームページ運営事業	広報支援事業	<ul style="list-style-type: none"> • SNSによる情報発信（商工会HP、Facebook、ブログ） • 商店の個店指導（メニューやチラシ等の広報媒体）等を強化するためのIT環境の強化・整備等。
「特産品」開発普及促進事業		<ul style="list-style-type: none"> • 特産品開発事業…桜に関連した商品の製造・開発 • 販路拡大事業…市内事業所の販路拡大や開発支援を行うため、商談会やイベントの参加、チラシ・パンフ等の作成を行う。 	
新事業	NEXT商店街検討事業		<ul style="list-style-type: none"> • 商店街にある空き店舗等の施設を活用するため、商店街内外の人材を巻き込みながら方向性について検討する。また、商業協同組合を含め商店街組織の再編も検討する。
	観光連携事業		<ul style="list-style-type: none"> • 桜まつり等での権現堂公園等事業を活用して商店街全体への回遊性を高める仕組みを検討し、商店街と消費者とのコミュニティ形成を図る。
経営主体を変更する事業			<ul style="list-style-type: none"> • ペットと共に「ドッグラン」施設整備事業については、委託運営管理者に全面委託し、補助金を充てない運営とする。

幸手市中心市街地にぎわい創造方針

平成30年3月発行

発行：幸手市

編集：建設経済部商工観光課

住所：〒340-0192 埼玉県幸手市東4丁目6番8号

電話：0480（43）1111（代表）